

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

1. 水島市民交流センターの構成

水島市民交流センターにおいては、主に以下の諸室を想定し、延べ面積4,100㎡以内の建築物とし、様々な目的をもった幅広い世代の人が利用する複合施設として柔軟な活用が可能な空間構成に配慮すること。

分類		主要諸室
地域交流機能		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交流スペース</li> <li>・ 印刷作業室</li> </ul>
生涯学習機能	ホール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホール、舞台、舞台袖、親子室、ホール用ホワイエ、舞台備品保管庫、ピアノ保管庫、舞台用シャワー室、舞台用トイレ、調整室等</li> </ul>
	貸室等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議室※1、音楽練習室、和室※1、工作室、調理室※2、ディスカッションルーム、公民館事務室等</li> </ul>
児童館機能		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遊戯室（ミニ体育館）※3、創作活動室、集会室※3、乳幼児室、授乳室、子ども用トイレ、飲食コーナー、図書コーナー、相談室、児童館事務室等</li> </ul>
図書館機能		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般開架スペース、ブラウジング（新聞・雑誌）コーナー、子ども図書スペース、おはなしの部屋、サイレントルーム（学習室）、図書整備室（図書館事務室）、閉架書庫等</li> </ul>
管理機能		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合案内、事務室兼職員用休憩室、更衣室、中央監視室、清掃員控室等</li> </ul>
共用機能		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ エントランスホール（風除室含む）、飲食コーナー、一般トイレ、多機能トイレ、子ども用トイレ、赤ちゃんの駅、湯沸室等</li> </ul>

※1 会議室の一部、和室については、平時は一般利用者向けとするが、ホールを利用したイベント時等出演者の控室としての利用も可能なゾーニングとすること。

※2 調理室は、児童館の利用者も使うことを考慮したゾーニングとすること。

※3 児童館とその他の部分は明確に区分すること。なお、遊戯室、集会室は児童館休館日、閉館時間に児童館専用部分を介さずに出入り可能なゾーニングとすること。

## (別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

### 2. 施設全体の要求水準

水島市民交流センターの施設計画内容は、次のとおりである。

■施設全体	
建築	
外観計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・周辺の景観との調和に配慮するとともに、地域のランドマークとなる形態意匠とすること。</li><li>・窓、建具の設置にあたっては、隣接建物との視線の交錯を考慮すること。</li><li>・建物デザインは、温室効果ガス削減や機能性を重視したデザインとすること。</li><li>・「倉敷市公共事業景観ガイドライン」の景観重点公共事業として所定の検討を行い、外観計画等に反映すること。倉敷市都市景観審議会資料の作成を行うこと。</li></ul>
配置計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・整備期間中も現水島公民館及び現水島児童館の利用を可能な限り継続することを考慮した上で、現水島児童館のグラウンド部分に水島市民交流センターを配置すること。具体的な配置位置は【別添資料 14】モデルプラン（配置）を参考にすること。ただし、自由な提案を妨げるものではない。</li><li>・水島支所との相互利用が想定されることから、安全で分かりやすい施設配置とすること。避難誘導や救助活動が容易に行えるよう考慮すること。水島支所との行き来が可能な通路等を確保すること。</li><li>・周辺環境に十分配慮を行い、プライバシー保護や騒音、排気対策、景観に配慮すること。特に、道路を挟んだ北側施設に対する日影に配慮した計画とすること。</li></ul>
動線計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設利用者動線とサービス動線等は明確に区分し、適切な動線計画を行うこと</li><li>・障がい者や高齢者等の快適かつ安全な移動に配慮すること。</li><li>・利用者の利便性、バリアフリー化、安全性、防災性（避難誘導の容易さなど）を考慮した動線とすること。</li><li>・利用者が迷うことなく、円滑な利用が可能な内部動線となるよう配慮すること。</li><li>・適切な台数のエレベーター（以下「E V」という。）を設置すること。また、乗員数に応じたE Vホールを備えること。</li><li>・ホールへの大人数の利用を考慮した内部動線とすること。</li><li>・イベント開催時等の利用者、出演者の動線は明確なものとし、不必要</li></ul>

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	<p>に交錯しないように計画すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各機能の休閉館時に、他の機能の利用に不便が生じない計画とすること。</li> <li>・大道具等の適切な搬出入動線を確保し、十分な搬出入スペースを計画すること。</li> </ul>
平面計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が、各施設を利用しやすい平面計画とすること。</li> <li>・本施設を構成する各諸室の使用状況及びセキュリティ区分を踏まえ、ゾーニングとすること。</li> <li>・諸室の配置及び面積等については、「3. 各諸室の要求水準」を基準とし、使用目的や機能に応じた最適な計画とすること。</li> <li>・平面計画に当たっては、施設や諸室の特性を把握し、利便性、安全性、防災性（避難誘導の容易さなど）、プライバシー確保、遮音性能などを考慮すること。なお、平面構成の検討材料として【別添資料15】各諸室の相関図（水島市民交流センター）を提供する。</li> <li>・将来の間仕切り変更や部屋の用途変更、改修工事の容易性などを考慮すること。</li> <li>・廊下、E Vホール、ホワイエ等は障がい者等の利用や緊急時の往来、イベント開催時の入館者溜まり等に配慮した、幅員、面積等とすること。</li> <li>・ホール及び舞台は器具、大道具の搬出入、移動がスムーズに行えるように計画し、必要に応じて昇降機などの採用も検討すること。</li> <li>・ホール利用者の控室兼用の貸室については、控室として利用時の防犯対策を考慮した配置とすること。</li> <li>・児童館、調理室、和室、おはなしの部屋は上履き利用とする。</li> <li>・児童館は、明確な区分が可能な計画とすること。</li> <li>・屋外階段を設置し、以下の仕様とすること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 利用者が、安全に2階以上の階の避難口からの避難が可能となるよう配慮すること。</li> <li>➤ 緊急時には上層階への避難が可能ものとする。</li> <li>➤ 屋外テラス（バルコニー）へのアクセス性やデザイン性に配慮すること。</li> <li>➤ 階段手すりは、二段手すりとする。</li> <li>➤ 雨天時にも、安全に使用が可能な仕上げ等とすること。</li> <li>➤ 地上の出入口には、施錠が可能な扉を設置すること。</li> <li>➤ 各階との出入口の建具には、平時に利用者が容易に開閉できないよう、内部に非常時開放式サムターン等を設置すること。</li> </ul> </li> </ul>

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各階に屋外テラス（バルコニー）を設置し、以下の仕様とすること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 通常時は、主に清掃等の施設管理用スペースとして使用し、緊急時には避難が可能なスペースとすること。</li> <li>➤ 内部と外部を効果的につなぐ空間とすること。</li> <li>➤ 適宜目隠しを行うなど、敷地周辺への視線に配慮すること。</li> <li>➤ 図書の貸し出し手続きを行わずに建物外に移動できないよう配慮するなど、セキュリティ対策を十分に行うこと。</li> <li>➤ 適切な高さ、仕様の転落防止策を行うこと。</li> <li>➤ 緊急時に、外部から障害なく、安全に避難可能な仕様とすること。</li> <li>➤ 雨天時にも、安全に使用が可能な仕上げ等とすること。</li> <li>➤ 屋外テラスには腰壁等を設け、洗濯物干し用の金物を設置すること。</li> <li>➤ 清掃用等の給排水設備を設置すること。</li> </ul> </li> <li>・屋上は、主に管理用のスペースとし、適宜、手すりや屋上に設備機器を設置する場合の目隠しフェンス等を設置すること。</li> <li>・事業者の創意工夫により、本施設が利用者の交流やくつろぎの場となるよう、ゆとりある空間確保などの提案を期待する。</li> </ul>
断面計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状地盤+1.5mの高潮等による浸水被害を防ぐ1階床高さの設定、及び止水対策を講じること。（平成16年の高潮において確認されている現状地盤から約1.5mの高さまでの浸水に対応する。）。また、止水対策についてはメンテナンス性や管理面に配慮したものとする。</li> <li>・各諸室の天井高さを適切に確保した上で、建物全体としては、高さを極力押さえた計画とし、近隣への圧迫感の低減に努めること。</li> <li>・施設や諸室の特性を把握し、利便性、安全性、防災性（避難誘導の容易さなど）、プライバシー確保、遮音性能などを考慮すること。</li> </ul>
仕上計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震時の剥落、落下による二次災害抑制に配慮した内外装材とすること。</li> <li>・外装等の仕上材は、構造躯体の保護や経年劣化による意匠性を考慮すること。</li> <li>・外装材について、鳥類、鼠族及び昆虫等の侵入並びにそれらの住着きを防ぐ構造とすること。また、植栽の影響を受けにくい、材料、構造とすること。</li> <li>・内装材、外装材、建具等について、耐久性が高く、調達が容易な汎用品の採用に努めること。</li> <li>・内装仕上材は、諸室の用途、利用内容や形態など各室の特性に配慮したものとする。</li> </ul>

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕上材は、長寿命で耐久性に優れ、かつ、清掃、補修等がしやすいなど維持管理が容易なものを選定すること。</li> <li>・施設利用者が利用する場所に用いるガラスは原則、強化ガラスとするが、各種法令等によりやむを得ない場合は、利用者の安全性に配慮した上で、適切な仕様とすること。</li> <li>・木質化に努め、岡山県産材を積極的に使用すること。</li> <li>・市内企業の製造する素材等を内装等に積極的に活用すること。</li> <li>・外部に面する窓には原則、網戸を設置すること。</li> <li>・窓に設置するカーテン、ブラインド等は【別表 01】各室スペック表による。</li> <li>・暗幕を設置する部屋は光漏れに注意し、必要に応じて、窓以外の開口部にも遮光の措置がとれるようにすること。</li> <li>・施設修繕時及び解体時に、環境汚染を引き起こさない内外装材を選定すること。</li> <li>・危険な凹凸を避ける、怪我をしない素材を使用するなど、利用者の安全性に配慮すること。また、乳幼児の利用が想定される部屋ではアール加工とするなど、特に配慮すること。</li> <li>・各室の用途、機能に応じて形状や断熱、吸音、遮音材を十分検討して採用すること。</li> <li>・使用する材料（建築資材等）は、ホルムアルデヒドや揮発性有機化合物等の化学物質の削減に配慮したものとする。諸室の揮発性有機化合物の室内濃度は、厚生労働省が定める指針値以下とすること。</li> </ul>
安全・防犯計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部には、十分な防犯対策を講じるとともに、出入口や外部の屋外テラスには、適切なセキュリティ対策を講じること。</li> <li>・出入口、重要諸室（事務室、中央監視室等）、開放エリアといったセキュリティの設定を行った上で、区画を明確にした計画とすること。</li> <li>・視認性の確保や死角をなくすことに配慮し、施設利用者の安全に配慮した施設とすること。</li> <li>・不法侵入、不審者対策を講じること。</li> <li>・建屋廻りには適切に外灯等を設置し、夜間の安全も考慮した計画とすること。</li> <li>・屋外テラス、屋外階段等は、落下防止に配慮すること。</li> <li>・室内の機器や備品等は、地震の振動により転倒しないよう適切に設置すること。</li> <li>・避難誘導のためのサインを適切に計画すること。</li> <li>・計画上必要とする箇所に、カード認証等による開錠システムを設置す</li> </ul>

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	<p>ること。詳細は「入退室管理設備」の項による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カメラ設備については、「防犯カメラ設備」の項による。</li> <li>・共用する諸室において、様々な局面において柔軟な活用が可能となるよう、キープランも含めて対策を行うこと。</li> <li>・児童館機能専用屋外広場には、内外部からの侵出入ができないよう適切なセキュリティ対策を講じること。</li> <li>・施錠が必要となる施設設備は、本市が今後決定する維持管理、運営方針に基づくこと。</li> </ul>
防災計画 ・ B C P	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一時避難場所として、機能する施設計画とすること。</li> <li>・屋外階段を少なくとも 1 か所設け、緊急時に安全な高さの屋外テラス等に、容易かつ安全な避難が可能な計画とすること。</li> <li>・建物内外について、緊急時の避難動線を確保し利用者の安全を守るとともに、緊急車両の動線や寄り付きも考慮すること。</li> <li>・地形、地質、気象等の自然的条件による災害を防ぐため、建築構造部材、非構造部材、設備機器等の総合的な安全性の確保を考慮すること。</li> <li>・洪水ハザードマップ等を踏まえ、災害発生時にも建物機能を維持し、関係機関との連携や実務者の活動が可能となるスペースの確保が可能となるよう考慮すること。特にライフラインの確保を考慮すること。</li> <li>・火災等の際には、容易かつ安全な避難が可能な建物とし、特に障がい者等の自力で避難が困難な利用者（要介助者等）には、特に配慮すること。</li> </ul>
ユニバーサルデザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインの考え方を積極的に取り入れ、全ての利用者が円滑かつ快適な利用が可能な施設を実現すること。</li> <li>・「ユニバーサル社会の実現に向けた諸施策の総合的かつ一体的な推進に関する法律」や「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」等を遵守し、「建築物移動等円滑化誘導基準」に適合させること。</li> </ul>
環境配慮計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ基準については、「倉敷市公共建築物ゼロカーボン指針」の目標基準以上の性能（Z E B Ready以上の認証を得られる建物性能）の確保の確認が可能な計画とすること。</li> <li>・再生可能エネルギー（太陽光発電設備）の導入については、「倉敷市公共建築物ゼロカーボン指針」に基づいて、最大限の導入に努めること。</li> <li>・「倉敷市公共建築物ゼロカーボン指針」に基づくゼロカーボン技術項</li> </ul>

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	<p>目の導入に努めること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺地域に対して、日光の反射や設備機器等から、日常的に発生する騒音、振動、排気ガスなどの低減が可能となるよう配慮すること。</li> <li>・ホール、児童館、音楽練習室、会議室等、各諸室の利用時の音や振動が、他の機能に大きな影響を及ぼさない計画とすること。外部への音の漏れ出しにも適切に配慮すること。</li> </ul>
維持管理計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿命化に配慮した、ライフサイクルコスト低減効果の高い建物とすること。</li> <li>・冷暖房負荷の低減を図り、電気、ガス、水道等の水光熱費の抑制を考慮した建物とすること。</li> <li>・市民ニーズの変化や、将来の情報通信技術等への対応にも配慮すること。</li> <li>・設備更新や維持管理について、容易に行うことが可能となるよう考慮すること。</li> </ul>
サイン計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者や子ども、高齢者、外国人など全ての人に配慮したサインとすること。</li> <li>・わかりやすく、視認性に優れたサインとすること。</li> <li>・将来において、諸室の配置が変更となった場合にも容易に対応可能なサインとすること。</li> <li>・外部からも容易な視認が可能な位置に施設名サインを設置すること。</li> <li>・現在地、各施設の出入口位置、施設名、施設の総合案内、階平面、室名等が容易に分かるよう、適切に内外部のサインを設置すること。</li> <li>・エントランスには施設案内を設置すること。</li> <li>・外部サイン（字体等を含む。）のデザインは、敷地内及び周辺地域の景観に配慮したものとし、水島市民交流センター及び水島支所全体で統一されたデザインとすること。</li> <li>・必要に応じて、サインは多言語対応とすること。</li> <li>・必要に応じて、I S O規格に準拠したピクトサインを活用したものとすること。</li> </ul>
昇降機設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各機能の運営に必要となる台数を確保するとともに、ストレッチャーや什器類の搬入等も考慮すること。</li> <li>・高齢者、車椅子使用者に対応すること。</li> <li>・警報装置を設置すること。</li> <li>・地震管制、火災管制、停電時自動着床機能を有すること。</li> <li>・省エネ性能の高い昇降機設備を採用すること。</li> <li>・開口部から中を視認することが可能となる構造とすること。</li> </ul>

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホール及び図書館への資機材等の搬出入に使える、人荷用昇降機を設置すること。(W1, 600mm×D1, 900mm×H2, 400mm以上、最大積載量1, 350kg以上を想定)</li> </ul>
舞台機構設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機械台については、電動機、減速機、巻取ドラム等を考慮した、十分な強度の部材を組合せ、ボルト、アンカーボルトにて、固定すること。</li> <li>・バトンについては、用途、荷重に応じて適切なバトン形状、サイズを選定すること。</li> <li>・幕地については、消防法に基づき設置すること。</li> <li>・【別表02】-1 舞台設備表に記載の機器仕様以上の機器とすること。</li> </ul>
構造	
耐震性能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもから高齢者まで、多数の人が利用する施設であることに配慮するとともに、避難所、避難場所の指定が可能な性能を確保すること。</li> <li>・施設の耐震安全性の分類は、「官庁施設の総合耐震・津波計画基準(国土交通省大臣官房官庁営繕部)」に基づき、次の基準以上とすること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 構造体の耐震安全性：Ⅱ類</li> <li>➤ 非構造部材の耐震安全性：A類</li> <li>➤ 設備の耐震安全性：乙類</li> </ul> </li> <li>・非構造部材、手すり、建具、屋外広告物についても安全性を確保すること。</li> </ul>
耐久性能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄筋コンクリート造の場合、「建築工事標準仕様書／同解説 J A S S 5 鉄筋コンクリート工事(日本建築学会)」に定める耐久性能「標準(計画供用期間およそ65年)」を確保すること。</li> <li>・鉄骨部も、鉄筋コンクリート造の場合と同等の耐久性能を確保するものとし、防錆等の適切な措置を施すこと。</li> <li>・主要構造材、二次部材等について、海岸近くに立地することを考慮し、外壁や屋根などの仕上げには、汚れが付きにくい仕上げとするなど、必要に応じて適切な対策を講じること。また、設備機器等についても、同様に考慮すること。</li> </ul>
設備全般	
一般事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備方式、設備機器、各設備配管配線は、耐久性、耐震性、安全性、信頼性が高く、省エネルギー性能、環境性能に優れ、維持管理が容易となるものを選定すること。</li> <li>・電気、空調等は、各エリア、諸室等の使い勝手を考慮し、個別制御、集中管理を適切に設定すること。</li> <li>・更新及びメンテナンスを考慮し、各設備室や設備シャフト内には更新用の予備スペースや、将来対応の空配管等を設置すること。</li> </ul>



(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各設備機器は用途等に応じて、リスク分散、冗長性に配慮し選定すること。故障時にも速やかに修理対応が可能なものとし、交換、保守部品が、容易に入手可能なものとする。</li> <li>・各設備機器及び設置場所は、修繕、更新時などの搬出入経路（昇降機設備が利用できない場合の揚重機械等の設置スペース含む。）の確保等、維持管理の容易性に配慮すること。</li> <li>・ライフサイクルコストの低減に配慮すること。</li> <li>・地震、津波、洪水、強風、雷等の自然災害に対する被害防止対策を講じること。</li> <li>・各設備機器を屋外設置する場合は、周辺環境に十分に配慮し、計画すること。</li> <li>・中央監視室において、生涯学習機能、児童館機能、図書館機能などの各機器の監視制御等が行えるシステムとすること。</li> <li>・「建築設備設計・施工指針」（最新版）に基づきダクト、配管等は、耐震施工を行うとともに、設備機器の転倒防止・落下防止対策を万全に行うこと。</li> <li>・インバータ機器は、水島市民交流センター及び周辺施設に対し影響を与えないよう、必要に応じて高調波低減対策を施すこと。特に、各種設備のインバータ制御による高周波ノイズが、音響設備に影響しないようにすること。また、設備機器が発する騒音、振動の制御及び機器、配線からの電氣的な発振の影響が、音響設備に出現しないための配置位置や配線ルート等とすること。</li> <li>・諸室環境に応じた適切な計画を行い、結露防止や防カビ対策を行うこと。</li> <li>・管理区分ごとの光熱水費が明確となるよう、子メーター等を適切に設置すること。</li> <li>・屋外に設置する各機器は耐候性、耐久性の配慮を行い、機器の長寿命化を図ること。</li> </ul>
電気設備	
受変電設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受変電設備は、キュービクル式とし、施工性が良く、維持管理のしやすさを考慮したものとする。</li> <li>・変圧器容量は、将来的な増加分を見込むこと。</li> <li>・変圧器は、「トッランナー変圧器の第三次判断基準」を遵守すること。</li> <li>・変圧器は、増設スペースを十分見込んでおくこと。</li> <li>・電源設備は、通信、情報、音響等に対し、高調波やノイズ等の影響を</li> </ul>

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	<p>及ぼさないこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周囲への騒音、振動に配慮した設備とし、浸水被害等を考慮した場所に設置すること。</li> </ul>
発電設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・停電時に法令上求められる防災負荷や、機能維持に必要な屋内、屋外電力供給を確保するため、超低騒音型非常用発電設備を設置すること。</li> <li>・昇降機設備（1 台程度）、給水設備については、防災負荷とすること。自動にて切替えを行う設備とし、手動にて切り離しが可能なものとする。</li> <li>・燃料貯蔵容量については、設定発電機の消費燃料に基づき、可能な限り長時間運転とすること。浸水時にも機能を阻害されない様にする。ただし、燃料貯蔵容量は、指定数量未満での最大容量とすること。</li> <li>・容易な燃料補給を可能とすること。</li> <li>・周囲への騒音、振動に配慮した設備とし、浸水被害等を考慮した場所に設置とすること。</li> </ul>
太陽光発電設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光熱費削減効果、外観、維持管理などに配慮し、可能な限り太陽光発電設備の有効活用を図ること。なお、下限値は特に定めないものとする。</li> <li>・商用電源との系統連系とし、停電時は自立運転が可能で、必要な負荷に供給するものとする。</li> <li>・電力監視設備で運転状況、状態監視等が監視、制御、モニター表示が可能となるようにすること。また、太陽光発電設備の電力、電力量なども計測、計量が可能なものとする。</li> </ul>
電力貯蔵設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電力貯蔵設備を設置すること。</li> <li>・運用上必要な負荷を対象とした直流電源装置を設置すること。</li> <li>・直流電源装置は長寿命型とし、将来の増設を見込んだ容量とすること。</li> <li>・周囲への騒音、振動に配慮した設備とし、浸水被害等を考慮した場所に設置すること。</li> </ul>
動力設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動力制御盤は、将来対応用の増設スペース、予備回路を適切に見込むこと。</li> <li>・動力制御盤は電力の計測（空調設備、ポンプ等）が可能な回路構成とすること。</li> </ul>
電灯設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分電盤は、将来対応用の増設スペース、予備回路を適切に見込むこと。</li> <li>・電灯設備の監視及び制御は、必要に応じて、安全性及び保全性に配慮</li> </ul>

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	<p>して、必要となる動作、警報表示等が行えるものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各施設機能を考慮し、十分な照度を確保すること。</li> <li>・点滅区分を適正に設定し、こまめな消灯を可能にすること。また、人感センサー、昼光センサー制御やゾーニング制御等により、照明による消費電力を抑えること。</li> <li>・照明器具は、諸室の用途と適性を考慮して、それぞれ適切な機器選定を行うとともに、維持管理の容易性にも配慮すること。</li> <li>・その他、必要に応じて保安照明を設置すること。</li> <li>・ホール照明は、調光を可能とすること。</li> <li>・各室の照明は、事務室、中央監視室の各室において、集中管理パネル（電灯等の一括入切が可能なもの）を設置し、一括管理が可能となるようにすること。</li> <li>・非常照明、誘導灯は、関連法令を踏まえ、生涯学習機能（ホール）を考慮し設置すること。</li> </ul>
コンセント設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拡張性を考慮すること。</li> <li>・部屋の用途及び目的に応じた取付け位置、形式、数量及び容量とすること。</li> <li>・停電時の予備電源は、一般用との区別を可能にすること。</li> <li>・W i - F i 対応として、各諸室の室面積に応じて天井コンセントを適切な個数設置すること。</li> <li>・安全上配慮が必要な部分のコンセント等については、カバー付き、鍵付き等とすること。</li> </ul>
構内電話交換設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話線の引込が行えるように、地中配管設備及び弱電引込用ハンドホールを設置すること。地中配管は、予備配管を敷設すること。</li> <li>・原則としてダイヤルイン方式とし、運営者の業務内容を想定した回線数とすること。</li> <li>・昇降機設備の遠隔監視用等に配線を行うこと。</li> <li>・建物内各諸室に配管配線等を行うこと。</li> <li>・ダイヤルイン方式に対応可能なように、電話交換機を設置すること。</li> <li>・各諸室に必要な応じて電話機を設置すること。</li> </ul>
構内情報通信設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信線の引込が行えるように、地中配管設備及び弱電引込用ハンドホールを設置すること。地中配管は、十分に余裕をもった条数を確保すること。</li> <li>・職員が使用する L A N と来庁者向け L A N は、系統を区分すること。</li> <li>・各諸室に必要な応じて配線、情報コンセントを設置すること。</li> <li>・情報コンセント設置位置に、予備配管を敷設すること。</li> </ul>

(別紙1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・W i - F i 用の配管を敷設すること。</li> <li>・図書システム用の配管（電源とL A N用配管）を敷設すること。</li> <li>・図書の盗難等防止装置を必要箇所に設置すること。（H F 帯 I C タグ対応）</li> <li>・図書の I C 予約棚を設置し、収容数は1,500冊以上とすること。（H F 帯 I C タグ対応）</li> </ul>
テレビ 共同受信 設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地上波デジタル放送、B S 及びC S 放送の受信が可能なアンテナ及び増幅器並びにケーブルテレビによる受信設備等を設け、映像及び音響設備とも連携した共聴設備とすること。</li> <li>・その他設備のアンテナを計画するため、設置スペースを確保すること。また、将来用予備配管を確保すること。</li> <li>・各諸室に必要な応じてテレビ端子を設置すること。</li> </ul>
拡声設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務室、中央監視室各室に放送設備を設け、各室及び外部にマイクによる音声放送が可能なものとする。</li> <li>・一般業務放送は、非常放送、B G M放送、時報と兼用とすること。</li> <li>・B G M放送、時報等は機能ごとに設定可能なものとする。</li> <li>・必要箇所に音響設備を一般放送とは別に設置すること。</li> <li>・音響設備は、ワイヤレスアンプ、マイクシステムも含むものとし、プロジェクターとの連動が可能なものとする。</li> <li>・必要箇所に簡易型ワイヤレスアンプ、マイクシステムを設置すること。</li> </ul>
誘導支援設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者に配慮し、各種誘導案内設備を設置すること。</li> </ul>
インターホン 設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各出入口には、カメラ付きインターホンを設置し、事務室、中央監視室に設置されているインターホンと連携すること。</li> <li>・玄関インターホンはカメラ付きとし、遠隔での開錠を可能とすること。</li> </ul>
入退室管理 設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要箇所に、カード認証等による開錠システムを設置すること。認証カード登録用機器、登録カードを50枚程度納入すること。</li> </ul>
時計設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホールの使用に適した時計を設置すること。</li> </ul>
自動火災報知 設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務室、中央監視室に受信機、副受信機を設置すること。</li> </ul>
構内配電通信 線路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地中管路には、適切な箇所に点検スペースも含めた適切な大きさのハンドホール、マンホールを設置することとし、蓋は周囲の意匠に配慮すること。また、車両通行部分のハンドホールは、重耐重蓋とすること。</li> <li>・予備配管を適切に見込むこと。</li> </ul>

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

中央監視設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受変電設備、発電設備、直流電源装置、照明制御、動力設備、放送設備、自動火災報知設備、入退室管理設備、防犯カメラ設備、排煙設備、トイレ呼出設備、E V 設備等の監視制御等が停電時も含めて可能なものとする。</li> <li>・エネルギー等使用量（各種負荷設備、エリア、用途等）の監視、分析を行い最適なエネルギー管理が可能なようにBEMSを設置すること。</li> <li>・各機器の状態、異常信号、使用量の監視が可能なものとする。</li> </ul>
防犯カメラ設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用者の立ち入り及び館内の各室、外部の状況を確認することを目的として、死角が無いように適切な位置、数の防犯カメラを設置すること。画質はフルHD以上とすること。</li> <li>・防犯カメラ設備を建物内、及び駐車場、屋外テラス、屋外広場内等の必要箇所に設置し、事務室、中央監視室各室にて監視制御が可能なものとする。</li> <li>・事務室、中央監視室各室には監視用モニター等を設置すること。</li> <li>・水島支所敷地内駐車場等は、水島市民交流センターと別システムとし、水島支所中央監視室で監視制御が可能なものとする。</li> <li>・カメラは夜間でも監視及び録画を行う機能を有すること。</li> <li>・録画容量は2週間分以上とすること。</li> <li>・機械警備用配管の設置を行うこと。</li> </ul>
呼出設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレ（多機能トイレ含む。）、授乳室等に呼出ボタンを設け、異常があった場合、表示窓の点灯と警報音等により事務室、中央監視室に知らせること。</li> <li>・多機能トイレは、事務室、中央監視室にて長時間使用の確認が可能となる設備とすること。</li> </ul>
情報表示設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント情報や、関連情報などを放映する情報モニター（デジタルサイネージ）を必要箇所に設置すること。</li> <li>・プロジェクター設備を必要箇所に設置すること。</li> <li>・プロジェクターは、外光も考慮した、十分な明るさの機器とすること。</li> </ul>
雷保護設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JIS規格や関連法令に従い、雷保護設備を設置すること。</li> <li>・主要機器に対して内部雷保護対策を講じること。</li> </ul>
舞台照明設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・舞台の大きさに適したライトバトンの本数を設置し、灯体等の吊り込み作業は床レベルで行うことを前提とすること。</li> <li>・各用途に対応可能な設備内容とすること。</li> <li>・舞台照明全体のシステムは、LEDを念頭に置いたシステムとすること。</li> </ul>

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調光設備は、プリセット入力等演出機能に配慮した調光操作卓を設置すること。舞台袖である程度の操作が可能なものとする。ホール内においても操作可能な接続盤を設置すること。</li> <li>・舞台や客席内での持込機器に対応した、各種コンセントや電源を設置すること。</li> <li>・調光主幹盤、分電盤、調光器盤で構成する。適切な電源容量、調光回路数を確保すること。</li> <li>・フロアコンセント、サスペンションライト、ボーダーライト、ホリゾンライト、シーリングライト、フロントサイドライト、ピンスポットライト等で構成すること。</li> <li>・シーリングライト、フロントサイドライト等は点検通路、作業台等より操作可能な仕様とする。</li> <li>・舞台袖（上手または下手）で操作が可能なものとする。ホール内においても操作可能な接続盤を設置すること。</li> <li>・詳細については設計時に、市と協議を行うこと。</li> <li>・【別表 02】-2 舞台設備表に記載の機器仕様以上の機器とすること。</li> </ul>
舞台音響設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・舞台の大きさに最適な音響、マイクシステム計画とすること。</li> <li>・音響シミュレーションを行った上で舞台音響設備の計画を行い、設備設置後には測定等を行うこと。</li> <li>・各用途に対応可能な設備内容、音響調整卓とすること。</li> <li>・舞台や客席内での持込機器に対応した各種コンセントや、電源を設置すること。</li> <li>・舞台袖である程度の操作が可能とすること。ホール内においても操作可能な接続盤を設置すること。</li> <li>・基本的な劇場形式では、舞台の先端のプロセニアムスピーカーを中心に、サイドスピーカー、フロントスピーカー、補助スピーカー等を設置すること。</li> <li>・詳細については設計時に、市と協議を行うこと。</li> <li>・【別表 02】-3 舞台設備表に記載の機器仕様以上の機器とすること。</li> </ul>
舞台映像設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクターを調整室等に、操作性を考慮して設置すること。</li> <li>・プロジェクターは、照明が点灯している状態でも視認可能な機器を設置すること。</li> <li>・舞台袖での入力機器を想定した内容とすること。</li> <li>・大型スクリーンを設置すること。</li> <li>・【別表02】-3 舞台設備表に記載の機器仕様以上の機器とすること。</li> </ul>
舞台連絡設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・舞台進行者、舞台出演者等の職種間の連絡を図るため、インターカム等を設置すること。</li> </ul>

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公演の進行状況の確認が可能となるように、ホール内のモニター音を各所に供給するためのエアモニタマイクを設置すること。</li> <li>・モニタースピーカーを調整室、中央監視室等に設置し舞台、客席等の状況を把握すること。</li> <li>・舞台進行が分かるよう舞台袖、調整室、ホワイエ、会議室③、和室、中央監視室等必要箇所に、I T Vモニターやコンセントを設置すること。</li> </ul>
空気調和設備	
空調設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諸室の空間、用途、目的に応じた空調システムを採用し、適切な室内環境を確保すること。</li> <li>・ゾーニングや個別空調の考え方について、最適なシステムを計画すること。エントランスホール、廊下等は、適宜エリア区分し、エリア毎に管理が可能となるようにし、事務室等の個室は個別空調を可能とすること。ただし、各諸室での操作は制限可能にすること。</li> <li>・中央監視室において集中管理可能とすること。また各機能の事務室等においても空調の一括発停管理が可能な計画とすること。ただし、ホールエリアは中央監視室からの発停を行うこととする。</li> <li>・空調設備は、環境配慮、保守性、更新性を総合的に考慮し高効率の機器を採用すること。</li> <li>・室各所での温度等のモニタリングや温度調整が可能となるよう配慮すること。</li> <li>・諸室の静音環境を保つような設備計画に努め、屋外機器の騒音、振動が室内に伝播しないよう配慮すること。</li> <li>・一般諸室の設計温湿度条件について、屋外温湿度は、「建築設備設計基準（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）」最新版に示された値のうち、本件施設用地の立地を踏まえ、適正な値を設定すること。屋内温湿度も、原則、「建築設備設計基準（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）」（最新版）によるが、利用者の快適性を考慮した温湿度設定とし、計画すること。</li> <li>・災害時等のインフラ供給遮断を考慮し、熱源用エネルギーは都市ガス、電気の組合せにより、熱源確保の信頼性向上のための対策を講じること。</li> </ul>
換気設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各諸室の用途、目的に応じた換気システムを採用すること。</li> <li>・空気バランス、省エネルギー性能、環境性能、シックハウス対策に配慮すること。</li> <li>・原則、中央監視室において集中管理をするが、各諸室においても制御</li> </ul>

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	<p>が可能となるものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・換気対象諸室及び換気量について、原則、「建築設備設計基準（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）」最新版に示された値のうち、対象諸室の用途や換気対象要因に基づき適正な値を設定し、「建築基準法」等の関係法令を遵守すること。</li> <li>・建物全体の風量バランスを考慮して、空調設備と調和するよう計画すること。</li> </ul>
排煙設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係法令に従って、必要に応じて設置すること。</li> </ul>
自動制御	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央監視室において設備機器類の運転監視を可能とし、日常点検や維持管理、異常警報等の監視システムを計画すること。</li> </ul>
給排水衛生設備	
給水設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給水システムの選定に当たっては、建物計画による合理性に配慮すること。</li> <li>・給水方式は原則、受水槽式（ポンプ直送式）とし、以下の仕様とすること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 重要機器である受水槽は、鋼板製一体型やステンレス製（溶接組立型）等、強固で耐久性、耐候性に優れており、内部は清掃が容易でかつ施錠が可能な構造とすること。</li> <li>➤ ポンプ室は更新用スペースやメンテナンスを考慮した配置とすること。</li> <li>➤ 感震器連動の緊急遮断弁及び給水栓を設置すること。</li> <li>➤ 衛生に配慮し、藻対策を考慮すること。</li> <li>➤ 保守点検時に供給が停止しないよう、配慮した計画とすること。</li> <li>➤ 災害時にも、十分な機能の確保が可能となるよう配慮すると共に、設備機器の耐候性、耐久性及び浸水影響に配慮すること。外部に設置する場合は液状化に配慮した設置計画とすること。</li> </ul> </li> </ul>
排水設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保守性、機能性に配慮すること。</li> <li>・汚水と雑排水は別系統とし、トラップ枳を介して屋外で合流させること。</li> <li>・適切に下水道に接続すること。なお、排水に関しては、自然勾配を基本とし、ポンプアップは可能な限り行わないこと。</li> <li>・屋外排水ルート（雨水含む。）は、極力建物の下部を通過しないこと。</li> <li>・必要に応じてグリーストラップ等の阻集器を設置すること。阻集器は防臭蓋とし、床面の水や砂埃等が流入しない構造とすること。</li> <li>・地下ピットに非常用排水槽を設置すること。</li> </ul>



(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

給湯設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保守性、機能性、省エネ性、安全性に配慮すること。</li> </ul>
衛生設備	<p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機能性、節水性、保守性に配慮すること。</li> <li>・想定される建物利用者に応じて誰もが使いやすい器具を採用し、ユニバーサルデザインに配慮すること。</li> <li>・トイレの衛生対策、特に臭気対策に十分に配慮すること。</li> <li>・便器等の数量は、利用者の内容（子ども、大人）や人数を考慮して設定すること。</li> <li>・衛生機器はすべて自動洗浄、自動水栓とすること。</li> <li>・トイレ内の掃除道具入れには、掃除用流しを設置すること。</li> <li>・多機能トイレには、大人も利用可能な収納式おむつ交換台、オストメイト、その他必要な機器を設置すること。</li> </ul> <p>【一般用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大便器は洋式とし、暖房機能付き温水洗浄便座、擬音装置を設置すること。</li> <li>・原則、小便器は低リップとすること。</li> <li>・トイレの洗面台、小便器には、傘、杖掛けを設置すること。</li> <li>・男女各トイレには、ブース内にベビーチェアを1か所以上設置すること。</li> </ul> <p>【子ども用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未就学児用の幼児用大便器（暖房機能付き）、小便器、手洗い、収納式おむつ交換台を適宜設置すること。</li> </ul>
ガス設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係法令に従って、必要なガス設備を設置すること。</li> </ul>
消火設備等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係法令に従って、必要な消火設備を設置すること。</li> <li>・屋内消火栓、消火器ボックスを計画する場合は、壁埋め込み方式とすること。</li> </ul>

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

3. 各諸室の要求水準

水島市民交流センターにおける各諸室の計画内容は、次のとおりである。なお、各諸室に設置する什器、設備などは以下に示すもののほか、【別表01】各室スペック表を参照し、設置すること。

(1) 地域交流機能

No. 101	交流スペース						
用途・目的	市民が気軽に集い、交流するスペース						
必要面積	95 m <sup>2</sup> 程度	天井高	適宜	収容 人員	適宜	設置数	1 か所
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開放感のある空間とすること。</li> <li>・エントランスホールから一体感のある空間とし、No. 801交流広場から連続性のある空間とすること。</li> <li>・屋外と一体的な利用も可能になるよう、開口部を適切に確保すること。</li> <li>・自然光を可能な限り確保すること。</li> <li>・自然光や視線の調整を可能とするため、窓にはブラインドなどを設置すること。</li> </ul>						
他室との関係	・No. 701エントランスホールに隣接する。						
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スペースに適したプロジェクタースクリーン、プロジェクター、音響設備を、固定式もしくは可搬式として設置すること。</li> <li>・音響設備は、音響スピーカー及びワイヤレスマイク、アンプの構成とすること。</li> <li>・プロジェクター、音響設備共パソコン使用に配慮した計画とすること。</li> </ul>						

No. 102	印刷作業室						
用途・目的	グループ活動のチラシなどを作成する室						
必要面積	15 m <sup>2</sup> 程度	天井高	適宜	収容 人員	適宜	設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・印刷機、裁断機、紙折り機を各 1 台程度と、作業台を設置するスペースを確保すること。</li> <li>・レターボックスを設置するスペースを確保すること。</li> <li>・隣室や階下等の他室や外部への音の影響がないよう、天井、壁、</li> </ul>						

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	床、サッシ、出入口等には、適切な遮音性能を確保すること。
他室との関係	・ No. 501一般開架スペースと近接する。
建築設備要件	—

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

(2) 生涯学習機能 (ホール)

No. 201	ホール						
用途・目的	演劇、演奏会、講演会、文化祭などの開催が可能な室						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容人員	400 人程度	設置数	1 室
諸室仕様	<p>【ホール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上層階に配置すること。</li> <li>・座席数は400席程度（車椅子席、親子席含む。）とし、ゆったりとした座席間隔を確保すること。席数設定に当たっては車いすの利用を適切に見込むこと。</li> <li>・良好な鑑賞環境を確保すること。なお、管理面、安全面に配慮した提案とすること。</li> <li>・座席は視認性を考慮した配置とすること。</li> <li>・各列の横並びは、観客の出入りや迅速な避難等を考慮し、適切な席数とすること。</li> <li>・椅子は、長時間の着席にも疲れづらく座り心地のよい上質な仕様のもとし、座席幅500mm以上、座席間隔950mm以上の配置としてゆとりを持たせること。</li> <li>・席番銘板は、座と背の2か所に設け、通路側床に列番号銘板を取付けること。</li> <li>・通路や階段は、舞台との連続性及び歩きやすさに配慮するとともに、避難時のスムーズな移動に十分留意すること。階段や最後尾列の横通路等にも足元灯やノンスリップ灯などを設け、上演中でも観客の安全な移動が可能となるようにすること。</li> <li>・通路における転倒や落下防止に留意し、通路には壁面や座席の背に手すりを設置すること。</li> <li>・扉は遮音、防音性に配慮した開き戸とすること。</li> <li>・ホワイエからの接続は前室によること。</li> <li>・時計等を客席及び舞台から見える位置と舞台から見える位置にそれぞれ設置すること。</li> </ul> <p>【音響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遮音や振動に十分配慮した防音、防振構造とし、他の会議室、児童館機能、図書館機能等、他の施設利用に対して、影響のないよう配</li> </ul>						

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	<p>慮すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 反射面、吸音面を適切に設け、直接音や初期反射音が多く得られ、明瞭度が高く、質の高い音を確保するとともに、残響や音響の調整が可能なようにすること。なお、要求水準を踏まえ、望ましい残響時間等の提案を行うこと。</li> <li>・ 静かさの基準（室内騒音低減目標値）として、運用状態でNC-30以下を目標とすること。</li> </ul>
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ No. 202舞台、舞台袖に隣接すること。</li> <li>・ No. 203親子室に隣接すること。</li> </ul>
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大空間に人が滞在することに適した空調方式を採用すること。また気流が演奏会、演劇鑑賞会などに影響を与えないよう、利用状況に応じて快適に過ごせる空調方式とすること。</li> <li>・ 客席部分で温度分布のムラがないように配慮すること。</li> <li>・ 空調は故障時においてもリスク分散が可能なシステムとすること。</li> <li>・ 調光可能な照明を設置すること。</li> </ul>

No. 202	<b>舞台、舞台袖</b>						
用途・目的	演劇、演奏会、講演会、文化祭などの開催が可能な室						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容人員	適宜	設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 舞台をエンドステージ方式でホール短辺に面して設置すること。</li> <li>・ 各種イベントを行うに十分な舞台計画とすること。</li> <li>・ 舞台平面寸法は幅13m以上×奥行 8 m以上とし、高さは事業者提案による。</li> <li>・ プロセニウム幅12m以上、高さ6.5m以上とすること。</li> <li>・ スクリーンはイメージ寸法幅 8 m× 3 m以上かつ、アリーナ規模にふさわしいサイズを確保すること。</li> <li>・ 舞台上部にはスノコを設け、道具バトン、ライトバトン、諸幕用バトン等の吊物を設置すること。吊物の駆動は原則、電動方式とし、その他詳細は提案による。</li> <li>・ ライトバトンの要件は舞台照明設備要件による。</li> <li>・ 吊物バトンは舞台の大きさに適した本数を設置し、緞帳（三つ折またはそれに代わるもの）、一文字幕、袖幕、水平幕等を適切</li> </ul>						

	<p>な数量、整備すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天井にはシーリングライトを設置すること。</li> <li>・音響の要件は舞台音響設備要件による。</li> <li>・舞台設備は更新性、メンテナンス性に優れ、ランニングコストに配慮した計画とすること。</li> <li>・他室や外部への音の影響がないよう、壁等には、適切な遮音性能を確保すること。</li> <li>・コールドドラフトの防止をはじめ、幕ゆれの防止等の良好な環境を確保し、舞台上演、演奏及びそれらの演出等客席での鑑賞に支障のない計画とすること。</li> <li>・ホールの舞台袖で、客席部分と舞台を個別に温湿度管理が可能となるようにすること。</li> <li>・客席側から舞台に上がれる階段を設置すること。ただし、階段は後付可能な可搬式でもよい。</li> <li>・車いす利用者の舞台への移動に配慮した計画とすること。</li> <li>・室の用途、目的を考慮した適切な広さの舞台袖を舞台両脇に設置すること。</li> <li>・控室部分（No. 303会議室③、No. 306和室）への連絡に配慮した計画とすること。連絡通路となる部分の扉は高さ2.2m以上とすること。</li> <li>・調整室へのアクセスに配慮した計画とすること。</li> <li>・舞台設備（舞台機構、音響、照明）調整コーナーを設置すること。</li> <li>・舞台、舞台袖、舞台備品保管庫は、一体的な利用を可能とすること。搬入口を近接して設置すること。</li> <li>・演者の移動や道具の搬出入に支障がないよう配慮した計画とすること。</li> <li>・舞台から演者が移動する諸室への動線上にある出入口は、衣装での移動や楽器の移動を考慮して有効高さ2.2m以上有効開口幅1.2m以上を確保すること。</li> <li>・裸足での利用に配慮した床仕上材とすること。</li> </ul> <p>【音響反射板】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音響反射板の可動については、養生や重量バトンのフック掛け等の作業を極力少なくし、少人数で安全かつ迅速に設置、収納が可能な</li> </ul>
--	--

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	<p>システムとすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音響反射板の出入扉は2か所設置し、内1か所はフルコンサートピアノのスムーズな出し入れが可能な大きさとする。</li> <li>・音響反射板の開口は幅12m程度、高さ6.5m程度とし、コンサート時の舞台部と客席部の音のつながりをよくするため、可動式音響反射板の天井高を十分確保すること。</li> <li>・音響反射板の内側にスクリーン、看板兼用の昇降ボタン（電動又は手動）を設置すること。</li> </ul>
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・No. 303会議室③、No. 306和室を控室として利用する。</li> <li>・No. 201ホールに隣接すること。</li> <li>・No. 607人荷用E V、E Vホールからの動線に配慮すること。</li> </ul>
建築設備要件	<p>【舞台照明】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・舞台照明設備項目によること。</li> </ul> <p>【舞台音響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・舞台音響設備項目によること。</li> </ul>

No. 203	<b>親子室</b>						
用途・目的	親子でゆっくりと鑑賞が可能な室						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容人員	10人程度	設置数	1室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座席数は10席以上とすること。</li> <li>・親子での気軽な鑑賞が可能な空間となるような仕上げとし、一般の客席に声等が漏れにくいようにすること。</li> <li>・客席とガラスで仕切り、鑑賞がしやすい大きさの開口寸法とすること。</li> <li>・椅子は、長時間の着席にも疲れづらく座り心地のよい上質な仕様のものでとすること。</li> <li>・床材は歩きやすく、耐水性、防汚性を考慮すること。</li> <li>・複数室とする配置も可能とする。</li> </ul>						
他室との関係	No. 201ホールに隣接すること。						
建築設備要件	・モニタースピーカーを設置すること。						

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

No. 204	<b>ホール用ホワイエ</b>						
用途・目的	ホール利用者等の待合等としての使用が可能なスペース						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容人員	適宜	設置数	1 か所
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ E Vホールから一体感のある空間とし、華美になりすぎないものとする。</li> <li>・ 来館者の交流のスペースとして、テーブルや椅子、ソファなどの設置が可能な空間とすること。</li> <li>・ イベント時に使用する受付スペースを設け、入場者の列の整理に配慮した配置とすること。</li> <li>・ 一部は展示スペースとしての利用も可能なスペースとし、壁面展示可能となるように、ピクチャーレール等の器具を適宜設置すること。</li> <li>・ 窓辺等は夏の暑さ対策、紫外線対策を行うこと。</li> <li>・ ホール使用時は、各控室（No. 303会議室③、No. 306和室）とホワイエを可動式間仕切り等で区域を分けることが可能となるよう設えること。</li> </ul>						
他室との関係	—						
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人が滞在するエリアを考慮した大空間に適する空調方式を採用すること。</li> <li>・ モニターを設置すること。</li> </ul>						

No. 205	<b>舞台備品保管庫</b>						
用途・目的	舞台で使用するひな壇、平台、演台、大道具類、各種看板等を収納する室						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容人員	—	設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 舞台で使用する合唱用のひな壇、平台、演台、大道具類、照明音響機材、国旗、市旗、各種看板等を収納するスペースとし、舞台と同じレベルに設置する計画とすること。（想定する移動物品は舞台用台車（約1.2m×0.75m、耐荷重500kg程度）に載せて運搬する）</li> <li>・ 搬入口を設け、人荷用 E Vからの動線に配慮し、搬入口は大道具の搬入に支障のない大きさとする。</li> <li>・ 搬出入をスムーズに行うため、出入口など、段差をなくす工夫を行</li> </ul>						



(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	うこと。
他室との関係	・ No. 202 舞台、舞台袖及び No. 607 人荷用 E V、E V ホールに近接すること。
建築設備要件	—

<b>No. 206</b>	<b>ピアノ保管庫</b>						
用途・目的	ピアノを収納する室						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容人員	—	設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フルコンサートピアノ 1 台程度設置可能なスペースとすること。</li> <li>・ピアノ搬送台も収納可能とすること。</li> <li>・搬出入をスムーズに行うため、ピアノ保管庫から舞台まで、段差をなくす工夫を行うこと。</li> </ul>						
他室との関係	・ No. 202 舞台、舞台袖と近接すること。						
建築設備要件	・ピアノの保管に適切な温度、湿度を常時維持、調節する空調設備を設置すること。						

<b>No. 207</b>	<b>舞台用シャワー室</b>						
用途・目的	舞台演者等が利用するシャワー室						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容人員	—	設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・舞台演者用のシャワー室及び脱衣室を設置すること。</li> <li>・会議室③と直接出入り可能な出入口を設置すること。</li> </ul>						
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ No. 303 会議室③に隣接すること。</li> <li>・ No. 306 和室に近接すること。</li> </ul>						
建築設備要件	—						

<b>No. 208</b>	<b>舞台用トイレ</b>						
用途・目的	舞台演者等が利用するトイレ						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容人員	—	設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・舞台演者用のトイレを 1 室程度設置すること。</li> <li>・臭いが滞留せず、掃除しやすい工夫を行う等、利用者の快適性の向</li> </ul>						

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	<p>上に配慮すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯や非常時に対応可能な設備等を整備すること。</li> <li>・手洗いを設け、自動水栓とし、壁面には鏡を設置すること。</li> <li>・洋式の大便器を 1 基設け、暖房機能付き温水洗浄便座、擬音装置を設置すること。</li> <li>・便房の装備等に応じコンセントを適切に設置すること。</li> </ul>
他室との関係	・各控室 (No. 303会議室③、No. 306和室) に近接すること。
建築設備要件	—

No. 209	<b>調整室</b>						
用途・目的	調光操作、音響調整、映像投影等を行う室						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容人員	適宜	設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・客席後方の舞台が見渡せる位置に調整室を設置すること。</li> <li>・音響調整及び調光操作を行う機能を有すること。</li> <li>・機器からの発熱に配慮した空調を行うこと。</li> <li>・舞台側と直接連絡等が可能となるよう、小窓を設置すること。</li> <li>・舞台袖から調整室へのアクセスに配慮した計画とすること。</li> <li>・講演等に支障のない遮音性能を確保すること。</li> <li>・ピンスポットライト (2 台) が設置可能なスペース及び開口部を確保すること。</li> </ul>						
他室との関係	No. 201ホールに隣接すること。						
建築設備要件	・プロジェクターを設置すること。(舞台でも P C 接続操作可能なものとする)						

No. 210	<b>ホール、舞台用空調機械室</b>						
用途・目的	ホール、舞台用の空調機械室						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容人員	—	設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各仕上りは騒音や振動等の影響が及びにくいものとする。</li> <li>・機器の交換が容易に行える計画とすること。</li> <li>・ホール、舞台用の空調機械室は、複数室に分けて整備することも可とする。</li> </ul>						

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

他室との関係	・隣接する諸室に、騒音、振動の影響が及びにくいようにすること。
建築設備要件	—

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

(3) 生涯学習機能(貸室等)

No. 301	会議室①						
用途・目的	会議や体操など、多目的に使用可能な室						
必要面積	115 m <sup>2</sup> 程度	天井高	3.0m	収容 人員	70 人 程度	設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開放感のある空間とすること。</li> <li>・床はスポーツ系の利用も想定したフローリングとし、重量衝撃にも配慮すること。</li> <li>・自然光を可能な限り確保すること。</li> <li>・自然光や視線の調整が可能となるよう、窓にはカーテン、ブラインドなどを設置すること。</li> <li>・隣室や階下等の他室や外部への音の影響がないよう、天井、壁、床、サッシ等には、適切な遮音性能を確保すること。</li> <li>・床、壁の仕上げは耐水性、防汚性を考慮すること。</li> <li>・出入口の扉は、安全面に配慮した上部ガラス入り引き戸（ハンガー戸）とすること。</li> <li>・1面に姿見の鏡（高さ1.8m程度、扉付）を設置すること。</li> <li>・通路などから部屋の様子がうかがえる設えとし、必要に応じて視線をさえぎるためのカーテン、ブラインドなどを設置すること。</li> </ul>						
他室との関係	—						
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スペースに適したプロジェクタースクリーン、プロジェクター、音響設備を設置すること。</li> <li>・音響設備は、音響スピーカー及びワイヤレスマイク、アンプの構成とすること。</li> <li>・プロジェクター、音響設備共パソコン使用に配慮した計画とすること。</li> <li>・照明用ダクトレール、スポットライト照明等を設置すること。</li> </ul>						

No. 302	会議室②						
用途・目的	会議など、多目的に使用可能な室						
必要面積	50 m <sup>2</sup> 程度	天井高	適宜	収容 人員	25 人 程度	設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開放感のある空間とすること。</li> <li>・自然光を可能な限り確保すること。</li> </ul>						

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然光や視線の調整が可能となるよう、窓にはカーテン、ブラインドなどを設置すること。</li> <li>・ 出入口の扉は安全面に配慮した上部ガラス入り引き戸（ハンガー戸）とすること。</li> <li>・ 隣室や階下等の他室や外部への音の影響がないよう、天井、壁、床、サッシ等には、適切な遮音性能を確保すること。</li> <li>・ 床、壁の仕上りは耐水性、防汚性を考慮すること。</li> <li>・ 通路などから部屋の様子がうかがえる設えとし、必要に応じて視線をさえぎるためのカーテン、ブラインドなどを設置すること。</li> </ul>
他室との関係	—
建築設備要件	・ プロジェクター用スクリーンを設置すること。

No. 303	<b>会議室③</b>						
用途・目的	会議など、多目的に使用可能な室（ホール利用者の控室兼用）						
必要面積	30 m <sup>2</sup> 程度	天井高	適宜	収容 人員	15 人 程度	設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開放感のある空間とすること。</li> <li>・ 自然光を可能な限り確保すること。</li> <li>・ 自然光や視線の調整が可能となるよう、窓にはカーテン、ブラインドなどを設置すること。</li> <li>・ 出入口の扉は、安全面に配慮した上部ガラス入り引き戸（ハンガー戸）とすること。</li> <li>・ 隣室や階下等の他室や外部への音の影響がないよう、天井、壁、床、サッシ等には、適切な遮音性能を確保すること。</li> <li>・ 床、壁の仕上りは耐水性、防汚性を考慮すること。</li> <li>・ 洗面化粧台を設置すること。</li> </ul>						
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 静寂が求められる空間とは近接せず、必要な距離を確保すること。</li> <li>・ No. 202舞台、舞台袖と近接すること。</li> <li>・ No. 207舞台用シャワー室に隣接すること。</li> <li>・ No. 208舞台用トイレに近接すること。</li> </ul>						
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ モニターテレビを設置すること。</li> <li>・ 温水を利用可能にすること。</li> <li>・ 水栓器具はシングルレバー式等、操作性に配慮した方式のものを採</li> </ul>						

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	用すること。
--	--------

No. 304	<b>会議室④(音楽練習室②)</b>						
用途・目的	会議や楽器演奏など、多目的に使用可能な室 (ギター、ドラム等の楽器演奏の練習が可能な室)						
必要面積	30 m <sup>2</sup> 程度	天井高	適宜	収容 人員	15 人 程度	設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・壁、天井、床、出入口を含めた十分な防音対策を講じること。</li> <li>・壁 1 面に姿見の鏡（高さ1.8m程度、カーテン付）を設置すること。</li> </ul>						
他室との関係	・静寂が求められる空間とは近接せず、必要な距離を確保すること。						
建築設備要件	—						

No. 305	<b>音楽練習室①</b>						
用途・目的	ピアノ、ギター、ドラム等の楽器演奏や合唱練習などに使用可能な室						
必要面積	45 m <sup>2</sup> 程度	天井高	適宜	収容 人員	適宜	設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・壁、天井、床、出入口等に十分な防音対策を講じること。</li> <li>・フルコンサートのピアノを 1 台設置可能とするよう、想定箇所の床補強を行うこと。</li> <li>・廊下等から活動の様子が見えるような設えとし、適宜視線を遮ることが可能となるよう、ブラインド等を設置すること。</li> </ul>						
他室との関係	・静寂が求められる空間とは近接せず、必要な距離を確保すること。						
建築設備要件	—						

No. 306	<b>和室</b>						
用途・目的	お茶、琴、和裁（ホール利用者の控室兼用）などに使用可能な室 (ホール利用者の控室兼用)						
必要面積	35 m <sup>2</sup> 程度	天井高	適宜	収容 人員	適宜	設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・床は畳とし、床の間、押し入れを設置すること。</li> <li>・床には湯釜のための炉を設置することが可能な機能を確保すること。寸法は協議によるものとする。</li> <li>・壁、天井は室の用途、目的に相応しい仕様とすること。</li> <li>・窓の内側には障子を設置すること。</li> </ul>						

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出入口には土間、小上がり、下足箱（20足分）を設け、適切な場所に手すりを設置すること。</li> <li>・ 流し台(ミニキッチン)を設置すること。</li> </ul>
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 静寂が求められる空間とは近接せず、必要な距離を確保すること。</li> <li>・ No. 202舞台、舞台袖に近接すること。</li> <li>・ No. 208舞台用トイレに近接すること。</li> </ul>
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ モニターを設置すること。</li> <li>・ 温水を利用可能にすること。</li> <li>・ 水栓器具はシングルレバー式等、操作性に配慮した方式のものを採用すること。</li> </ul>

No. 307	<b>会議室用備品保管庫</b>						
用途・目的	会議室①～④、音楽練習室①、和室で使用する備品、物品を収納する室						
必要面積	40 m <sup>2</sup> 程度	天井高	適宜	収容 人員	—	設置数	適宜
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 備品保管庫は各会議室に設置することとするが、各室の配置により、まとめて設置することを可能とする。</li> <li>・ 会議机、椅子、音響ワゴン等を収納可能とすること。</li> <li>・ 床、壁は物品の搬出入に配慮した工法、材料を選択すること。</li> <li>・ 扉は搬出入しやすい仕様、サイズとすること。</li> <li>・ 物品棚を設置すること。</li> </ul>						
他室との関係	—						
建築設備要件	—						

No. 308	<b>工作室（陶芸窯室、準備室含む）</b>						
用途・目的	木工教室、陶芸教室などに使用可能な室						
必要面積	65 m <sup>2</sup> 程度	天井高	適宜	収容 人員	24 人 程度	設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開放感のある空間とすること。</li> <li>・ 廊下等から活動の様子が見えるような設えとし、適宜視線を遮ることが可能となるよう、ブラインド等を設置すること。</li> <li>・ 多世代が工作、絵画等に利用が可能となるよう、水回りを設置すること。</li> </ul>						

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工作机を 4 台設置すること。仕様は協議による。</li> <li>・ 壁面には工作道具、備品保管用の棚を設置すること。</li> <li>・ 自然光を可能な限り確保すること。</li> <li>・ 自然光や視線を調整が可能となるよう、窓にはブラインドなどを設置すること。</li> <li>・ 床、壁、ブラインド等の材質の選定にあたっては、耐水性、防汚性を考慮すること。</li> <li>・ 準備室には陶芸用の乾燥棚を設置すること。</li> <li>・ 適切な規模の陶芸窯室を設置すること。</li> <li>・ 出入口の扉は安全面に配慮した上部ガラス入り引き戸（ハンガー戸）とすること。</li> <li>・ 水栓（温水）が 2 つ以上ある流し台（幅1,200mm×奥行き600mm×高さ800mm）を 2 基、流し台の高さに合わせた戸棚を設置すること。なお、流し台の下部を収納スペースとすること。</li> </ul>
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廊下又は外部から、直接、陶芸窯室へ行くことが可能な動線を確保すること。</li> </ul>
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 温水を利用可能にすること。</li> <li>・ プラスタートラップ等の排水トラップを設置し、清掃しやすい位置、構造とすること。</li> <li>・ 水栓器具はシングルレバー式等、操作性に配慮した方式のものを採用すること。</li> <li>・ 配線ダクト（配線ダクト用コンセント×2回路程度）を各作業台に設置すること。</li> <li>・ ガスコンロが使用可能なスペースを確保し、ガスコックを設置すること。</li> </ul> <p><b>【陶芸窯室】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電源動力200V（15KW相当）の還元焼成が可能な電気窯を設置すること。</li> <li>・ 還元焼成が可能な電気窯が使用可能となるよう、ガス供給すること。電気窯の仕様に適した排煙、換気、安全設備等を設置すること。</li> </ul>



(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

No. 309	<b>調理室</b>						
用途・目的	調理実習、料理教室、栄養改善教室などに使用可能な室 (児童館機能の食育活動室としても利用)						
必要面積	65 m <sup>2</sup> 程度	天井高	適宜	収容 人員	24 人 程度	設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師用の調理台 1 台、一般調理台 4 台（内 1 台は、高さ調整機能付き）を設置すること。</li> <li>・講師用調理台は、幅3.6m×奥行0.9m×高さ0.8m程度、IHコンロ 200V 3 口、流し台（水栓 2 つ、温水）、オーブンレンジ付とすること。</li> <li>・一般用調理台は、幅2.1m×奥行0.7m×高さ0.8m程度、IHコンロ 200V 3 口、流し台（水栓 1 つ、温水）、オーブンレンジ付とし、壁付けとすること。</li> <li>・一般用調理台のうち、1 台は高さ調整機能を有するものとし、別途足元に収納可能な可動式の収納家具を設置すること。オーブンレンジの設置場所については、協議による。</li> <li>・各調理台には、ホットプレート等が使用可能なコンセントを 2 個以上設置すること。</li> <li>・自然光を可能な限り確保すること。</li> <li>・自然光や視線の調整が可能となるよう、窓にはブラインドなどを設置すること。</li> <li>・廊下等から活動の様子が見えるような設えとし、適宜視線を遮ることが可能となるよう、ブラインド等を設置すること。</li> <li>・床、壁、ブラインド等の材質の選定にあたっては、水や油に強く、清掃しやすい材料とすること。</li> <li>・調理器具、食器用の戸棚（高さ2.1m程度、耐震ラッチ付）を設置すること。</li> <li>・冷蔵庫を設置可能なスペースを確保し、コンセントを整備すること。</li> <li>・土足禁止とし、下駄箱（上下 2 段収納式30人分）を廊下側に設置すること。</li> <li>・部屋の中央に、高さ調整が可能な 6 人用テーブルを 4 台設置すること。</li> </ul>						
他室との関係	・児童館からの動線に配慮すること。						

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排煙、換気に配慮すること（調理時の匂いを他室に排出しない等）。</li> <li>・温水を利用可能にすること。</li> <li>・清掃が容易な位置、構造としたグリーストラップ等の排水トラップを設置すること。</li> <li>・水栓器具はシングルレバー式等、操作性に配慮した方式のものを採用すること。</li> <li>・講師用調理台の作業状態が確認可能なモニターを設置すること。</li> <li>・ガス式の調理器具（ガス式炊飯窯等）が使用可能なスペースを確保し、ガスコックを設置すること。</li> </ul>
--------	--

No. 310	<b>ディスカッションルーム</b>						
用途・目的	少人数で集まっての会議や学習に使用可能な室						
必要面積	30 m <sup>2</sup> 程度	天井高	適宜	収容 人員	12 人 程度	設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで会話しながら会議や学習が可能なスペースとし、廊下等から中の様子が分かるよう、ガラス間仕切りを設置すること。</li> <li>・隣室や階下等の他室や外部への音の影響がないよう、天井、壁、床、サッシ、出入口等には、適切な遮音性能を確保すること。</li> <li>・飲み物の持ち込みを可能とするため、床の仕様は耐水性などに配慮すること。</li> <li>・室の区分けが可能となるよう、遮音性能のある可動間仕切りを設置すること。</li> <li>・ホワイトボードを区分した室でも利用可能とするため、2 か設置すること。</li> </ul>						
他室との関係	—						
建築設備要件	—						

No. 311	<b>貸出用備品等倉庫</b>						
用途・目的	貸出用備品、イベント用物品等を収納する室						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容 人員	適宜	設置数	1 室 以上
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・床、壁は物品の搬出入に配慮した工法、材料を選択すること。</li> <li>・物品棚を設置すること。</li> </ul>						

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

他室との関係	・ No. 601総合案内に近接すること。
建築設備要件	—

No. 312	<b>公民館事務室</b>						
用途・目的	市職員が公民館事務を行う室						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容人員	8人以上	設置数	1室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員 8 名の事務スペースを確保すること。</li> <li>・ 職員動線に配慮して配置すること。</li> <li>・ 複合機、簡易印刷機、書類棚を設置するスペースを確保すること。</li> <li>・ 簡易印刷機の音が室外に響かないような設えとすること。</li> <li>・ 個室とし、壁面を一部ガラスとするなど、No. 602事務室又はNo. 601総合案内と相互に様子の確認が可能な設えとすること。</li> <li>・ ミニキッチン（上部吊戸棚）を設置し、温水が利用でき、冷蔵庫、食器棚等を設置可能とすること。</li> </ul>						
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ No. 601総合案内に隣接することが望ましい。</li> <li>・ No. 602事務室兼職員用休憩室に隣接することが望ましい。その場合のミニキッチンは共用とすることを可とする。</li> </ul>						
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 温水を利用可能にすること。</li> <li>・ 水栓器具はシングルレバー式等、操作性に配慮した方式のものを採用すること。</li> </ul>						

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

(4) 児童館機能

No. 401	遊戯室 (ミニ体育館)						
用途・目的	遊戯、屋内スポーツ、講演会、音楽会、上映会等を使用可能な室						
必要面積	150 m <sup>2</sup> 程度	天井高	6.5m	収容 人員	適宜	設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開放感のある空間とし、天井高は6.5m以上とすること。</li> <li>・床材はスポーツ系の利用を想定したフローリングとすること。</li> <li>・出入口の扉は、安全面に配慮した上部ガラス入り引き戸（ハンガー戸）とすること。</li> <li>・自然光を可能な限り確保すること。</li> <li>・窓、出入口部分には暗幕を設置すること。また、様々な遊戯、スポーツを想定し、ガラス面、設備機器の保護を図ること。</li> <li>・未就学児等が利用することに配慮した、内装の設えとすること。</li> <li>・外部からの騒音に配慮すること。</li> <li>・隣室への音の影響がないよう、壁、扉等には、適切な遮音性能を確保すること。</li> <li>・吸音面を適切に設置するなど、内部の反響音に配慮した仕様とすること。</li> <li>・No. 402遊戯室用倉庫を室に面して設置すること。備品、物品は、安全な出し入れを可能にすること。</li> <li>・吊り物用バトンを設置すること。</li> <li>・バスケットコート、バトミントンコート、バスケット用ゴール（上下式）、バトミントン用ネットを設置（ポール、基礎共）すること。</li> <li>・遊戯室の中央に間仕切り用のネットを設置すること。また、出入口部分には防球ネットを設置すること。</li> </ul>						
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館機能に該当する諸室については、まとめた配置にすること。</li> <li>・児童館が休閉館時に、一般利用者の遊戯室利用を可能とするため、児童館の諸室を通ることなく入室、利用可能となる配置、機能とすること。</li> <li>・No. 402遊戯室用倉庫に隣接すること。</li> </ul>						
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音響スピーカー及びワイヤレスマイク、アンプを設置すること。アンプ接続盤は2か所設置すること。</li> </ul>						

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内スポーツを行うために必要な照度を確保すること。</li> <li>・床の結露等による安全面への影響、床材の早期の劣化等が発生しないよう配慮すること。</li> <li>・空調設備の吹出し口等については、安全性に配慮するとともに、接触や球技などによる損壊を防ぐための十分な対策を講じること。</li> <li>・遊戯室の空調は、災害時において外部電源等により設備の使用が可能な仕様とすること。</li> </ul>
--	--

<b>No. 402</b>	<b>遊戯室用倉庫</b>						
用途・目的	遊戯室で利用する備品、物品を収納する室						
必要面積	30 m <sup>2</sup> 程度	天井高	適宜	収容 人員	—	設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切なスペースを確保すること。</li> <li>・利用内容を考慮して配置すること。</li> <li>・壁の一面（長手方向）に備品棚を設置すること。</li> <li>・壁材は、物品の衝突等による欠損が発生しないような材料とすること。</li> </ul>						
他室との関係	・ No. 401遊戯室に隣接すること。						
建築設備要件	—						

<b>No. 403</b>	<b>創作活動室</b>						
用途・目的	図画工作、会議等に使用可能な室						
必要面積	55 m <sup>2</sup> 程度	天井高	2.7m	収容 人員	適宜	設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣室に対し、音が気にならない程度の仕様とすること。</li> <li>・自然光を可能な限り確保すること。</li> <li>・出入口の扉は安全面に配慮した上部ガラス入り引き戸（ハンガー戸）とすること。</li> <li>・廊下等から活動内容が見えるようにすること。</li> <li>・水や染料に強く、掃除がしやすく、変色しにくい床材、テープが貼れる壁材、明るい天井材を採用すること。</li> <li>・水栓が2つ以上ある流し台（幅1,200mm×奥行き600mm×高さ700mm程度）を2基と流し台の高さに合わせた戸棚を設置すること。なお、流</li> </ul>						

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	し台の下部を収納スペースとすること。
他室との関係	・ No. 413 児童館事務室と近接することが望ましい。
建築設備要件	・ 水栓器具はシングルレバー式等、操作性に配慮した方式のものを採用すること。

<b>No. 404</b>	<b>集会室</b>						
用途・目的	会議、講座、ボードゲーム遊び等に使用可能な室						
必要面積	35 m <sup>2</sup> 程度	天井高	2.7m	収容 人員	30 人 程度	設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 隣室の音が気にならない程度の遮音性能を確保すること。</li> <li>・ 自然光を極力確保すること。</li> <li>・ 出入口の扉は安全面に配慮した上部ガラス入り引き戸（ハンガー戸）とすること。</li> <li>・ 壁面にプロジェクターで投影可能なスペースを設置すること。</li> <li>・ 外部からの騒音に配慮すること。</li> <li>・ 床材はフローリングとすること。</li> </ul>						
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 隣接する諸室は、騒音、振動の影響が大きい室としないこと。</li> <li>・ 児童館が休閉館時に、一般利用者の集会室利用を可能とするため、児童館の諸室を通ることなく入室、利用可能となる配置、機能とすること。</li> </ul>						
建築設備要件	—						

<b>No. 405</b>	<b>集会室用倉庫</b>						
用途・目的	集会室で利用する備品を収納する室						
必要面積	10 m <sup>2</sup> 程度	天井高	適宜	収容 人員	—	設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 床、壁は物品の搬出入に配慮した工法、材料を選択すること。</li> <li>・ 物品棚を設置すること。</li> <li>・ 集会室で使用する机、椅子の収納可能なスペースを設置すること。</li> <li>・ 共用部からも搬出入可能とすること。</li> </ul>						
他室との関係	・ No. 404 集会室に隣接すること。						
建築設備要件	—						

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

No. 406	<b>乳幼児室</b>						
用途・目的	乳幼児が安全に遊ぶ室						
必要面積	55 m <sup>2</sup> 程度	天井高	2.7m	収容 人員	適宜	設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 明るく開放的な空間とすること。</li> <li>・ 幼児が転倒時にも怪我をしにくく、汚れの拭き取りや掃除がしやすい床材とすること。</li> <li>・ 落書き等の汚れの拭き取りや掃除がしやすい壁仕上材とすること。</li> <li>・ 柱や出隅部分は面取りを行い、クッション材を設置すること。</li> <li>・ 出入口の扉は安全面に配慮した上部ガラス入り引き戸（ハンガー戸）とすること。</li> <li>・ 自然光を可能な限り確保すること。</li> <li>・ 外部からの騒音に配慮すること。</li> <li>・ 隣室や階下等の他室や外部への音の影響がないよう、壁等には、適切な遮音性能を確保すること。</li> <li>・ コンセントは、乳幼児の安全の確保が可能な仕様又は設置位置等を計画するとともに、利便性にも配慮すること。</li> <li>・ 感覚統合遊具（スイングタイプ）を設置可能とするよう、天井にステンレス製パイプを設置すること。</li> <li>・ 屋内用砂場（5 m<sup>2</sup>程度）を設置すること。また、砂は清潔で雑菌が繁殖しにくい天然砂とすること。</li> <li>・ 屋内用砂場の砂が砂場の外にこぼれにくく、清掃、管理が容易となるよう配慮すること。また、砂場に隣接して、砂を払い落とすスペースを設置すること。</li> <li>・ 屋内用砂場は、他の目的でも利用が可能となるよう、床を掘り込む設えとし、耐荷重に考慮した蓋により他の床面と同レベルとなるように設えること。なお、利用者の安全面や、管理面にも配慮した蓋とすること。</li> </ul>						
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ No. 413児童館事務室に近接すること。</li> <li>・ 隣接する諸室に、騒音、振動の影響が及びにくいようにすること。</li> </ul>						
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 室全体で適切な空調が行えるようにすることとし、乳幼児に配慮した空調設備（床暖房など）とすること。</li> </ul>						

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

No. 407	<b>授乳室(児童館内)</b>						
用途・目的	乳児への授乳が可能な室						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容人員	適宜	設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 台付 1 槽 SUS シンク（温水）、授乳椅子、ベビーベッドを設置すること。</li> <li>・ 出入口の扉は引き戸（ハンガー戸）とすること。</li> <li>・ 利用中であることがわかるように、扉には明かり窓などを設置すること。</li> <li>・ 湯沸しポットが使えるようにすること。</li> <li>・ コンセントは、乳幼児の安全の確保が可能な仕様又は設置位置等を計画するとともに、利便性にも配慮すること。</li> </ul>						
他室との関係	・ No. 406乳幼児室から出入り可能とすること。						
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 温水を利用可能にすること。</li> <li>・ 水栓器具はシングルレバー式等、操作性に配慮した方式のものを採用すること。</li> </ul>						

No. 408	<b>子ども用トイレ(児童館内)</b>						
用途・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童館利用者の未就学児用のトイレ</li> <li>・ 乳児のおむつ替えが可能な室</li> </ul>						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容人員	—	設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児用洋式大便器（3－5 歳児童用、暖房便座）、幼児用手洗い、幼児用小便器及び収納式おむつ交換台を設置すること。</li> <li>・ 大人用の洋式大便器（暖房機能付き温水洗浄便座、擬音装置）、ベビーチェア、手洗いを設置すること。</li> <li>・ 手洗いや大便器部分は、手荷物などが置けるように配慮すること。</li> <li>・ 出入口の扉は引き戸（ハンガー戸）とすること。</li> <li>・ 利用中であることがわかるように、扉には明かり窓などを設置すること。</li> </ul>						
他室との関係	・ No. 406乳幼児室から出入り可能とすること。						
建築設備要件	—						



(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

No. 409	<b>飲食コーナー</b>						
用途・目的	昼食などの飲食スペース						
必要面積	10 m <sup>2</sup> 程度	天井高	適宜	収容 人員	5 人程度	設置数	1 か所
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5 人程度がテーブルで飲食可能なスペースを確保すること。</li> <li>・ オープンスペースとするが、簡易なパーテーションなどで容易に区切ることが可能な配置とすること。</li> <li>・ 明るく開放的な空間とすること。</li> <li>・ 自然光を極力確保すること。</li> </ul>						
他室との関係	・ No. 415廊下（上足部分）に面すること。						
建築設備要件	—						

No. 410	<b>図書コーナー</b>						
用途・目的	図書の閲覧、読書、P C利用などが可能な室						
必要面積	20 m <sup>2</sup> 程度	天井高	適宜	収容 人員	—	設置数	1 か所
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オープンフロア方式とし、書架は床と緊結すること。</li> <li>・ 什器は目線の高さまで、書架はH=1,800mmまでとすること。（ただし、壁付けの什器又は書架を除く。）</li> <li>・ 床は騒音に配慮し、歩行音の発生が少なく、冷たさを感じにくい材料とすること。</li> <li>・ 合計3,000冊程度の書籍（主にコミック）が収納可能な書架を設置すること。</li> <li>・ 書架、什器には地震等の際の転倒防止及び、図書等の落下防止対策を講じること。</li> <li>・ 書籍閲覧用の机、椅子を10か所程度設置するスペースを確保すること。</li> <li>・ パソコン閲覧用の机、専用椅子を 4 か程度設置すること。</li> </ul>						
他室との関係	・ No. 413児童館事務室と近接することが望ましい。						
建築設備要件	—						

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

No. 411	<b>相談室</b>						
用途・目的	子育て等に関する相談等に使用可能な室						
必要面積	5 m <sup>2</sup> 程度	天井高	適宜	収容 人員	適宜	設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣室の音が気にならない程度の仕様とすること。また、部屋の外から安易に見えないようにすること。</li> <li>・出入口の扉は引き戸（ハンガー戸）とすること。</li> <li>・室内の音が外に漏れ聞こえないよう配慮すること。</li> <li>・床は掃除のしやすい床材とすること。</li> <li>・利用中であることがわかるように、扉には明かり窓などを設置すること。</li> </ul>						
他室との関係	—						
建築設備要件	—						

No. 412	<b>児童館専用倉庫</b>						
用途・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・備品等を格納する室</li> <li>・おもちゃ等の遊具、各種設備の補修点検用器具、補修材料等の保管を行う室</li> </ul>						
必要面積	10 m <sup>2</sup> 程度	天井高	適宜	収容 人員	—	設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・壁材は、備品等の衝突時に欠損しにくい材料とすること。</li> <li>・床、壁は物品の搬出入に配慮した工法、材料とすること。</li> <li>・扉は搬出入しやすい仕様、サイズとすること。</li> <li>・物品棚を設置すること。</li> </ul>						
他室との関係	・No. 413児童館事務室からの動線に配慮すること。						
建築設備要件	—						

No. 413	<b>児童館事務室</b>						
用途・目的	児童館の受付及び事務を行う室						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容 人員	4 人 程度	設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員 4 名の事務スペース及び作業台を設置するスペースを確保すること。</li> <li>・児童館の受付に対応するため、カウンターを設置すること。カウン</li> </ul>						

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	<p>ターは、事務室側を奥行0.4m程度、エントランス側を奥行0.4m程度とし、高さは0.75m程度にすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おもちゃの貸出用、室予約用カウンター窓口を設置すること。窓口近くには、職員が管理するおもちゃ収納スペースを設け、保管棚を設置すること。</li> <li>・当日の予定が分かる行事予定板を設置すること。</li> <li>・各室、児童館用エントランス、廊下等への視認性に配慮すること。</li> <li>・壁面を一部ガラスとするなど、No. 601総合案内と相互に様子の確認が可能な設えとすること。</li> <li>・ミニキッチン（上部吊戸棚）を設置し温水が利用でき、冷蔵庫、食器棚等を設置可能とすること。</li> </ul>
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・No. 414児童館用エントランス、No. 415廊下（上足部分）、No. 416廊下（土足部分）に隣接すること。</li> <li>・No. 601総合案内に隣接することが望ましい。</li> <li>・No. 602事務室兼職員用休憩室に隣接することが望ましい。その場合のミニキッチンは共用とすることを可とする。</li> </ul>
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温水を利用可能にすること。</li> <li>・水栓器具はシングルレバー式等、操作性に配慮した方式のものを採用すること。</li> </ul>

No. 414	<b>児童館用エントランス</b>						
用途・目的	児童館利用者のエントランス						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容人員	適宜	設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館入口に設置する児童館受付に近接して、下駄箱（150足）を設置すること。</li> <li>・土足エリアはベビーカーを置くことが可能となるよう、十分なスペースを確保すること。</li> <li>・カウンター手洗い（3 栓、高さ0.6m×1 台、高さ0.8m×2 台）を設置すること（受付手続き後、靴を脱いでから手洗いをするを想定）。</li> <li>・エントランス側のカウンターの下に、扉付き収納ロッカーを設置すること。</li> <li>・出入口の建具は、開館時は開いた状態で利用可能とすること。</li> </ul>						

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

他室との関係	・ No. 413児童館事務室、No. 416廊下（土足部分）に隣接すること。
建築設備要件	—

<b>No. 415</b>	<b>廊下（上足部分）</b>						
用途・目的	児童館専用の廊下						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容人員	—	設置数	適宜
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多人数の使用に配慮し、機能的で使いやすい仕様とし、幅員についても余裕のあるものとする。</li> <li>・ 安全で分かりやすい避難動線に配慮すること。</li> <li>・ 掲示板（幅1.8m×高さ1.2m程度）を適宜設置すること。</li> <li>・ 円滑に清掃が行えるようコンセントを適切に設置すること。</li> <li>・ 集会室及び遊戯室の夜間開放時のセキュリティ対策として、夜間開放しない諸室のエリアに立ち入り禁止とするための建具を設置すること。</li> </ul>						
他室との関係	・ No. 413児童館事務室に隣接すること。						
建築設備要件	—						

<b>No. 416</b>	<b>廊下（土足部分）</b>						
用途・目的	土足で利用する屋外広場への通路						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容人員	—	設置数	適宜
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者が下足のまま児童館で受付を行った後、そのまま屋外広場へ行くことを想定した連絡通路とすること。</li> <li>・ 床の仕様は耐水性、防汚性などに留意した仕上げとすること。</li> <li>・ 壁面には手すりを設置すること。</li> <li>・ 児童館事務室から様子が見えるよう、可能な限り配慮すること。</li> <li>・ 児童館用屋外広場との出入口の扉は安全面に配慮したガラス入り引き戸（ハンガー戸）とすること。</li> <li>・ ガラス入り引き戸（ハンガー戸）のガラスは、すべての利用者が外部の様子を確認することが可能な大きさ、位置とすること。</li> </ul>						
他室との関係	・ No. 414児童館用エントランスに隣接すること。						
建築設備要件	—						

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

No. 417	<b>前室</b>						
用途・目的	夜間開放時のエントランス						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容人員	—	設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童館閉館時に、集会室及び遊戯室の利用者用の出入口スペースとすること。</li> <li>・ 床の仕様は耐水性、防汚性などに留意した仕上げとすること。</li> <li>・ 壁面には手すりを設置すること。</li> <li>・ 下駄箱（30足）を設置すること。</li> </ul>						
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ No. 415廊下（上足部分）に隣接すること。</li> <li>・ No. 401遊戯室、No. 404集会室への動線に配慮すること。</li> <li>・ No. 601総合案内からの動線に配慮すること。</li> </ul>						
建築設備要件	—						

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

(5) 図書館機能

No. 501	一般開架スペース						
用途・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般開架書架が並ぶスペース</li> <li>・蔵書資料の貸し出し、返却、相談を行うスペース</li> <li>・読書や書籍の閲覧等が可能なスペース</li> </ul>						
必要面積	提案による	天井高	3.0m以上	収容人員	適宜	設置数	1か所
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開架図書（児童向け図書を除く）は約7.2万冊の蔵書能力を目安とすること。（蔵書数約15万冊）</li> <li>・図書館以外の目的で来館した方に対して、図書館にも興味を持ってもらえるような空間とすること。</li> <li>・書棚の高さにメリハリをつけるなど、開放的な空間とすること。</li> <li>・書架間の通路幅員は、車いすと人とが対面通行可能な動線幅とすること。</li> <li>・利用者にとって分かりやすい位置に、OPAC用PC2台を設置可能なようにすること。</li> <li>・受付カウンター付近に、自動貸し出し機2台を設置するスペースを確保し、専用台を設置すること。</li> <li>・受付カウンター付近に印刷用コピー機1台を設置するスペースを確保すること。ただし、配置により、No.102印刷作業室内のコピー機の利用が容易な場合は、設置するスペースを設けないことも可とする。</li> <li>・利用者が新聞や地図などを閲覧可能な大きさの机を1台設置すること。</li> <li>・水島地域の郷土資料などの企画展示やテーマ展示にあわせた特集が可能なコーナーを2か以上設け、それぞれ20冊程度が展示可能な展示用書架を設置すること。</li> <li>・個人の学習、読書用の机、椅子を30席、椅子のみの席を適宜設置すること。机はカウンターも可とし、個々に電源と読書灯を設置すること。</li> <li>・耐水性のある座面の読書用スツールやソファなど、椅子のみの席を適宜設置すること。</li> <li>・書架の案内は利用者に分かりやすいよう工夫すること。資料の位置を変更することを踏まえ、差し替えがしやすい仕様とすること。</li> </ul>						

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	<ul style="list-style-type: none"><li>・書籍等の劣化を抑制するために、ほこりやカビ等が発生しにくい環境を保てるよう、空調に配慮すること。</li><li>・自然光を極力取り入れ、明るい空間とすること。ただし、書架部分については、紫外線等による図書の劣化を防ぐ工夫を行うこと。</li><li>・窓辺等は夏の暑さ対策、紫外線対策を行うこと。</li><li>・床は歩行音が生じにくく、埃がたちにくい素材とすること。</li><li>・飲み物の持ち込みを可能とするため、床の仕様は耐水性などに配慮した素材とすること。</li><li>・天井は開放感が出るような高さとし、反響音の抑制を考慮すること。</li><li>・施設開館時に図書館機能が休止している時間は、可動式間仕切り等により、立ち入りできない工夫を行うこと。</li><li>・階構成は提案によるが、管理面への配慮を行うこと。</li><li>・利用者にとって、親しみやすく温かみを感じる設えとすること。また、利用者の利便性にも配慮すること。</li><li>・壁、天井には、イベントによってシールやテープなどが貼れるような材質を採用すること。</li></ul> <p><b>【貸出及び返却カウンター】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・図書館機能スペースの入口からの視認性が高く、一般開架エリアが見渡しやすいなど、管理面にも配慮した配置とすること。</li><li>・カウンターはP Cを4台以上設置可能な仕様とすること。</li><li>・カウンター内に、ブックトラック4台とP C1台を置いて作業可能なスペースを確保し、書棚を設置すること。</li><li>・No. 506図書整備室に隣接し、動線が容易になる位置とすること。</li><li>・車いす利用者にとって利便性が高くなるよう、カウンターの高さ等に配慮すること。</li><li>・当該用途に供する室が複数階にまたがる時は、各々にカウンターを設置すること。</li></ul> <p><b>【書架に関する仕様】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・一般書架の高さは、閲覧スペースとのバランスにより高さや配置を検討して設定すること。</li></ul>
--	---

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・足元の本も見やすく、取りやすいよう配慮すること。</li> <li>・表紙を見せる展示を想定した本棚（照明による演出も含む）も採用すること。</li> <li>・書架は、施設の雰囲気に合わせてデザインとし、棚は可動性があるものとする。</li> <li>・書架には、地震等の際の転倒防止及び図書等の落下防止対策を講じること。</li> <li>・書架の強度は、図書を置いてもたわみが生じない棚の仕様とすること。</li> <li>・変更可能な書架サインを設置すること。</li> </ul> <p>【予約図書受け取りコーナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予約図書受け取りコーナーには、1,500冊以上の図書を収納可能な予約棚を設置し、また、自動貸出機、予約照会機を各1台設置するスペースを確保し、専用台を設置すること。自動貸出機は予約受け取りコーナー外での利用が容易な場合は不要とする。</li> <li>・予約図書受け取りコーナーは図書館機能全体に対し1か所設け、設置場所は1階が望ましい。</li> </ul>
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・No. 503子ども図書スペースに隣接すること。なお、階をまたぐ場合は、直接行き来可能な動線を確保すること。</li> <li>・貸室の一部が隣接することを可とするが、図書館機能が休止している際の立ち入り防止策（可動式間仕切りの設置等）に十分配慮すること。</li> <li>・No. 102印刷作業室に近接することが望ましい。</li> </ul>
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・I Cタグ対応予約棚を設置すること。（H F帯I Cタグ対応）</li> <li>・居心地の良い空間を演出する照明器具やデザインとすること。</li> <li>・デジタルサイネージを設置すること。</li> </ul>

No. 502	<b>ブラウジング（新聞・雑誌）コーナー</b>						
用途・目的	新聞、雑誌等を設置し、利用者が閲覧するスペース						
必要面積	提案による	天井高	3.0m以上	収容人員	適宜	設置数	1か所
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雑誌用書架は表紙を見せてディスプレイすることが可能な仕様とし、一般向け80種類程度の雑誌が月刊誌で1年程度を収納可能とす</li> </ul>						



(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	<p>ること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞用書架は地元新聞 1 年、その他 7 誌は 1 か月分を収納可能とすること。収納は見やすく取り出しやすい仕様とすること。</li> <li>・新聞用閲覧台（傾斜型）6 台を設置すること。</li> <li>・机、椅子を設置する等、ゆっくりとくつろぎながら読むことが可能な空間とすること。</li> <li>・新聞と雑誌のコーナーはそれぞれ別のスペースとすること。</li> </ul>
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・No. 501 一般開架スペースを経由して図書館機能のスペースから出入りすること。</li> </ul>
建築設備要件	

No. 503	<b>子ども図書スペース</b>						
用途・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児から小学生向けの書架等が並ぶスペース</li> <li>・読書や書籍の閲覧、親子などで読み聞かせ等が可能なスペース</li> <li>・蔵書資料の貸出、返却、相談を行うスペース</li> </ul>						
必要面積	提案による	天井高	3.0m 以上	収容人員	適宜	設置数	1 か所
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童向け図書は約 3 万冊（紙芝居など含む）の蔵書能力を目安とすること。（蔵書数約 15 万冊）</li> <li>・保護者向け雑誌コーナーを設け、書架は表紙を見せてディスプレイ可能な仕様とし、10 種類程度の雑誌が月刊誌で 1 年程度を収納可能とすること。</li> <li>・子ども図書スペースの外に対し、子ども図書スペースであることがわかるよう設えなどに工夫をすること。</li> <li>・書架間の通路幅員は、車いすと人との対面通行可能な動線幅とすること。</li> <li>・書架の案内は利用者に分かりやすいよう工夫すること。また、資料の位置を変更することを踏まえ、差し替えがしやすい仕様とすること。</li> <li>・OPAC 用 PC 2 台程度を置くコーナーを 1 か所以上設置可能なスペースを設置すること。</li> <li>・自動貸し出し機 1 台を設置するスペースを確保し、専用台を設置すること。</li> </ul>						

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	<ul style="list-style-type: none"><li>・書籍等の劣化を抑制するために、ほこりやカビ等が発生しにくい環境を保てるよう、空調に配慮すること。</li><li>・自然光を極力取り入れ、明るい空間とすること。ただし、書架部分については紫外線等による図書の劣化を防ぐ工夫を行うこと。</li><li>・窓辺等は夏の暑さ対策、紫外線対策を行うこと。</li><li>・床は歩行音が生じにくく、埃がたちにくい素材とすること。</li><li>・飲み物の持ち込みを可能とするため、床の仕様は耐水性などに配慮すること。また、児童の転倒等にも配慮した仕様とすること。</li><li>・天井は開放感が出るような高さとし、反響音の抑制を考慮すること。</li><li>・全体の色調は明るいものとすること。</li><li>・開放的な空間や、親子でゆったりと本が読める空間、隠れ家のような児童が集中して本を読める空間など、多様な空間を用意すること。</li><li>・防犯等の観点に留意し、児童の視線、動線の死角が無いような空間にすること。</li><li>・乳幼児が安心して過ごせるよう、他の一般利用者の動線を避ける位置に、乳幼児向けの図書を親子でゆっくり読むことが可能なスペースを設置すること。</li><li>・壁、天井には、イベントによってシールやテープなどが貼れるような材質を採用すること。おはなし会の開催にふさわしいデザインとすること。</li><li>・企画展示やテーマ展示にあわせて、特集が可能なコーナーを2か所以上設け、それぞれ20冊程度が展示可能な展示用書架を設置すること。</li></ul> <p><b>【貸出及び返却カウンター】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・No. 501一般開架スペースと階が異なる場合は、貸出及び返却カウンターを設置すること。</li><li>・利用者にとって利便性が高く、No. 503子ども図書スペースが見渡しやすいなど、管理面にも配慮した配置とすること。</li><li>・利用者にとって、親しみやすく温かみを感じる設えとすること。</li><li>・No. 506図書整備室との動線に配慮すること。</li></ul>
--	--

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車いす利用者も利用しやすい仕様とすること。</li> <li>・カウンターはP Cを2台、ブックトラック3台設置可能なスペースを確保し、書棚を設置すること。</li> </ul> <p>【児童用書架】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書架は児童向け図書の大きさに合わせて設定すること。</li> <li>・書架の高さは児童が図書を手に取りやすい高さ（3～4段を目安）とするが、空間構成に合わせて適宜壁面書架などを採用することも想定すること。</li> <li>・児童が本に親しめるような、デザイン、色に工夫を凝らした本棚とすること。</li> <li>・絵本書架は絵本の表紙を見ることも可能なものとする。</li> <li>・足元の本も見やすく、取りやすい本棚とすること。</li> <li>・紙芝居架や大型絵本架を設置すること。</li> <li>・児童の閲覧のためのスペースを確保し、児童用の椅子等を設置すること。</li> <li>・壁及び書架の出隅には、衝突時の安全対策を講じること。</li> <li>・書架には、地震等の際の転倒防止及び図書等の落下防止対策を講じること。</li> <li>・書架の強度は、図書を置いてもたわみが生じない棚の仕様とすること。</li> <li>・変更可能な書架サインを設置すること。</li> </ul>
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・No. 501一般開架スペースに隣接すること。なお、階が異なる場合は、直接行き来可能な動線を確保すること。</li> <li>・No. 504おはなしの部屋に隣接すること。</li> </ul>
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルサイネージを設置すること。</li> </ul>

No. 504	<b>おはなしの部屋</b>						
用途・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童向けの読み聞かせを行うスペース</li> <li>・お話会などのイベントを催すスペース</li> </ul>						
必要面積	15 m <sup>2</sup> 程度	天井高	適宜	収容 人員	10 人 程度	設置数	1 か所
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10人程度が収容可能な読み聞かせコーナーを設置すること。</li> </ul>						

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせコーナーは土足禁止とし、靴を脱いで寛げる空間とすること。</li> <li>・下足の履き替えスペースを設置し、10足以上の靴箱を室内に設置すること。</li> <li>・床は、子どもたちが寝転がってもよいような素材かつ手入れがしやすい素材とし、防音に留意すること。</li> <li>・デザインについては、児童が読み聞かせやおはなしに集中することが可能となるよう、配慮をすること。</li> <li>・扉は設けず、開放的な空間とすると同時に、閉じた空間とすることも可能な設えとすること。</li> <li>・壁、天井には、イベントによってシールやテープなどが貼れるような材質を採用すること。</li> </ul>
他室との関係	・ No. 503子ども図書スペースに隣接すること。
建築設備要件	・ 調光調色が可能な照明器具を設置すること。

No. 505	<b>サイレントルーム（学習室）</b>						
用途・目的	集中して読書、勉強等が可能な室						
必要面積	40 m <sup>2</sup> 程度	天井高	適宜	収容 人員	20 人 程度	設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別の席で20人程度が利用可能な空間とすること。</li> <li>・ 静謐な空間とし、部屋の外から中の様子が分かるような仕上げとすること。</li> <li>・ 飲み物の持ち込みを可能とするため、床の仕様は耐水性などに配慮すること。</li> <li>・ 出入口付近に予約用 P C 用の台を設置すること。</li> <li>・ 利用者用の机、椅子を設置し、机はカウンターも可とし、個々に電源と読書灯を設置すること。</li> </ul>						
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ No. 501一般開架スペースに隣接すること。</li> <li>・ No. 503子ども図書スペースや各会議室等とは一定の距離をとり、静寂性を確保すること。</li> </ul>						
建築設備要件	—						

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

No. 506	<b>図書整備室（図書館事務室）</b>						
用途・目的	図書館事務、書籍、資材等の搬出入、その他本の修理等を行う室						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容人員	6人以上	設置数	1室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員6人の事務スペースを確保すること。</li> <li>・地区館、公民館、移動図書館へ運搬する資料の発送及び返却図書の処理と仕分けを行う作業用テーブルを置くスペースを確保すること。</li> <li>・一般開架エリアとの行き来に配慮して配置すること。</li> <li>・図書用のカゴ(W520mm×D380mm×H220mm程度)12個を床に並べて置き、作業が可能なスペースを確保すること。</li> <li>・ミニキッチン（上部吊戸棚）を設置し温水が利用でき、冷蔵庫、食器棚等を設置可能とすること。</li> </ul>						
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・No. 501一般開架スペースに隣接又は近接すること。</li> <li>・No. 607人荷用E V、E Vホールに隣接すること。</li> <li>・No. 507閉架書庫に隣接すること。</li> <li>・No. 508図書館用倉庫と近接すること。</li> <li>・No. 601総合案内、No. 604中央監視室、No. 603更衣室との動線に配慮すること。</li> <li>・物流車両駐車場からの動線に配慮すること。</li> </ul>						
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温水を利用可能にすること。</li> <li>・水栓器具はシングルレバー式等、操作性に配慮した方式のものを採用すること。</li> </ul>						

No. 507	<b>閉架書庫</b>						
用途・目的	開架後、一定期間経過の図書を保管する室						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容人員	—	設置数	1室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・閉架図書は約4.8万冊を目安とする。（蔵書数約15万冊）</li> <li>・壁面の一部に書籍や収納用箱を保管する棚を設置すること。</li> <li>・職員作業用P Cを1台設置可能にようにすること。</li> <li>・直射日光は避けること。</li> <li>・書籍等の劣化を抑制するために、ほこりやカビ等が発生しにくい環</li> </ul>						

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	<p>境を保てるよう、空調に配慮すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蔵書資料のブックトラック等による搬入、搬出作業のための作業スペースや箱に詰めた書籍を保管するスペースを確保すること。</li> <li>・職員の作業動線、アプローチを考慮した配置とすること。</li> </ul> <p>【書架に関する仕様】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書架は、集密式スチール書架とすること。</li> <li>・足元の本も見やすく、取りやすいよう配慮したものとする。</li> <li>・書架には地震等の際の転倒防止及び図書等の落下防止対策を講じること。</li> <li>・変更可能な書架案内サインを設置すること。</li> </ul>
他室との関係	・ No. 506 図書整備室に隣接すること。（図書整備室から入室する。）
建築設備要件	—

No. 508	<b>図書館用倉庫</b>						
用途・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベントや企画展示等に使用する備品を収納する室</li> <li>・ 図書館運営、管理に必要となる物品等を収納する室</li> </ul>						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容人員	—	設置数	1 室
諸室仕様	・ 物品収納棚を設置すること。						
他室との関係	・ No. 506 図書整備室に近接すること。						
建築設備要件	—						

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

(6) 管理機能

No. 601	<b>総合案内</b>						
用途・目的	施設の総合案内、各種窓口案内、会議室予約の受付、予約等の事務を行う室 ※複合施設に入居するすべての機能の案内窓口とする。ただし、図書の貸出、返却は対応しない。						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容人員	適宜	設置数	1 か所
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内全体の案内カウンターとして利用するため、メインのエントランスホール内又は隣接した位置とすること。</li> <li>・カウンターはP Cを1 台以上設置可能な仕様とすること。</li> <li>・車いす利用者も利用しやすい仕様とすること。</li> <li>・カウンター付近にパンフレット架を設置可能なスペースを確保すること。</li> <li>・総合案内の背面などに貸出物品用（プロジェクター、スクリーン等）の収納（カウンターの高さ程度）を設置すること。</li> <li>・壁面を一部ガラスとするなど、No. 312公民館事務室やNo. 413児童館事務室と相互に様子の確認が可能な設えとすること。</li> </ul>						
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・No. 701エントランスホールに隣接すること。</li> <li>・No. 311貸出用備品等倉庫と近接すること。</li> <li>・No. 602事務室兼職員用休憩室に隣接すること。</li> <li>・No. 312公民館事務室やNo. 413児童館事務室と隣接することが望ましい。</li> </ul>						
建築設備要件	・デジタルサイネージを設置すること。						

No. 602	<b>事務室兼職員用休憩室</b>						
用途・目的	施設全体の施設管理等の事務を行い、職員が休憩等を行う室						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容人員	8 人以上	設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員 8 名の事務スペースを確保すること。</li> <li>・車いす利用者も利用しやすい仕様とすること。</li> <li>・休憩室は 6 人程度が同時に休憩可能な規模とし、公民館職員、図書館職員、児童館職員と共用とすること。</li> <li>・ミニキッチン（上部吊戸棚）を設置し温水が利用でき、冷蔵庫、食</li> </ul>						

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	<ul style="list-style-type: none"> <li>器棚等を設置可能とすること。</li> <li>・ 出入口付近に救急用品収納スペースを設置すること。</li> <li>・ 情報通信用接続盤スペース (900mm×900mm程度) を設置すること。</li> <li>・ 出入口の扉は引き戸 (ハンガー戸) とすること。</li> </ul>
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ No. 312公民館事務室に隣接することが望ましい。ただし、当室と一体空間とすることを不可とし、個室とすること。</li> <li>・ No. 413児童館事務室に隣接することが望ましい。当室と一体空間としても良いが、その場合には簡易なパーティション等で区切ることが可能なスペースを確保すること。</li> <li>・ No. 601総合案内に隣接すること。</li> <li>・ No. 604中央監視室に隣接することが望ましい。事務室と一体空間としても良い。</li> </ul>
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 温水を利用可能にすること。</li> <li>・ 水栓器具はシングルレバー式等、操作性に配慮した方式のものを採用すること。</li> </ul>

No. 603	<b>更衣室</b>						
用途・目的	総合事務、図書館事務、公民館事務、児童館事務職員用の着替え、荷物置場等に使用する室						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容人員	—	設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ロッカーを男女計40人分 (男10人、女30人) 設置すること。</li> <li>・ 職員の男女比の変更に対応可能となるよう、男女間の間仕切りは移動しやすい仕様とすること。</li> <li>・ 着替え等が可能なスペースを確保すること。</li> </ul>						
他室との関係	・ No. 602事務室兼職員用休憩室と近接することが望ましい。						
建築設備要件	—						

No. 604	<b>中央監視室</b>						
用途・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中央監視と守衛を行う室</li> <li>・ 職員エントランスの入退室管理を行う室</li> <li>・ 館内の機械及び電気設備の監視、制御を行う室</li> </ul>						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容人員	適宜	設置数	1 室



(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部発報を前提とした機械警備配管を敷設すること。</li> <li>・ No. 602事務室兼職員用休憩室と一体的な空間とすることを可とする。</li> </ul>
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ No. 602事務室兼職員用休憩室に隣接することが望ましい。</li> <li>・ No. 606職員用エントランスに近接又は隣接すること。</li> </ul>
建築設備要件	・ モニターテレビを設置すること。

No. 605	<b>清掃員控室</b>						
用途・目的	清掃スタッフ等が、洗濯、更衣、休憩するための室						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容人員	適宜	設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作業用の清掃用具等を保管する棚や冷蔵庫等を設置可能なスペースを確保すること。</li> <li>・ 洗濯機及び乾燥機が、それぞれ 2 台設置可能なスペースを設置すること。</li> <li>・ 手洗いを設置すること。</li> <li>・ ロッカーを計 6 人分設置すること。</li> </ul>						
他室との関係	・ 屋外テラスに設置する物干し場への動線に配慮すること。						
建築設備要件	—						

No. 606	<b>職員用エントランス兼搬出入ヤード</b>						
用途・目的	職員用のエントランスと図書、舞台備品等を搬出入するためのスペース						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容人員	—	設置数	1 か所
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員用の通用口を設置すること。</li> <li>・ 出入口には、舞台備品等の搬出入に支障ない幅とすること。</li> <li>・ 出入口には、雨除け対策を講じること。</li> <li>・ 外部には、郵便受けを設置すること。</li> <li>・ 傘立てを設置するスペースを確保すること。</li> <li>・ 搬出入ヤードは搬出入時に損傷を防ぐため、コーナガードなどを設置すること。</li> <li>・ インターホンを設置すること。</li> </ul>						
他室との関係	・ 管理、その他ゾーンに直接アクセス可能な位置とすること。						

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ No. 604中央管理室に近接又は隣接すること。</li> <li>・ No. 607人荷用E V、E Vホールに近接すること。</li> </ul>
建築設備要件	・ 電源 3 KW程度 2 か所以上設置すること。

No. 607	<b>人荷用E V、E Vホール</b>						
用途・目的	主に業務用、ホール用に使用するE V						
必要面積	提案による	天井高	—	収容人員	—	設置数	適宜
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乗降口は荷物の搬出入がしやすい配置とすること。</li> <li>・ かごの大きさはW1, 600mm×D1, 900mm×H2, 400mm以上、積載荷重は1, 350kg以上とすること。</li> </ul>						
他室との関係	・ No. 606職員用エントランス兼搬出入ヤード、No. 202舞台、舞台袖、No. 506図書整備室（図書館事務室）に近接すること。						
建築設備要件	—						

No. 608	<b>廊下（管理部）</b>						
用途・目的	管理用の廊下						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容人員	—	設置数	適宜
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多人数の利用に配慮した機能的で使いやすい仕様とし、幅員についても余裕のあるものとすること。</li> <li>・ 安全で分かりやすい避難動線に配慮すること。</li> <li>・ 必要な場所に手すりを設置すること。</li> <li>・ 円滑に清掃が行えるようコンセントを適切に設置すること。</li> </ul>						
他室との関係	—						
建築設備要件	—						

No. 609	<b>機械室</b>						
用途・目的	機械設備を設置する室						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容人員	—	設置数	適宜
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各仕上りは騒音や振動等の影響が及ぶにくいものとすること。</li> <li>・ 他諸室の床面積を確保するために、機器の一部を屋外に設置するこ</li> </ul>						

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	<p>とは差し支えない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機器を屋外に設置する場合には、耐候性、耐久性に優れた構造とすること。</li> <li>・機器の交換が容易な計画とすること。</li> </ul>
他室との関係	—
建築設備要件	—

No. 610	<b>電気室</b>						
用途・目的	電気設備を設置する室						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容人員	—	設置数	適宜
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各仕上げは、騒音や振動等の影響が及びにくいものとする。</li> <li>・他諸室の床面積を確保するために、機器の一部を屋外に設置することは差し支えない。</li> <li>・機器を屋外に設置する場合には、耐候性、耐久性に優れた構造とすること。</li> <li>・機器の交換が容易な計画とすること。</li> </ul>						
他室との関係	—						
建築設備要件	—						

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

(7) 共用機能

No. 701	エントランスホール（風除室含む）						
用途・目的	来館者の出入口、エントランスホール						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容人員	—	設置数	1 か所
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メインの出入口は、建物南側とし、サブエントランスの有無は事業者提案による。職員用出入口は別途設置すること。</li> <li>・明るく、開放感のある、かつ、市民の交流施設としての憩いの空間とすること。華美になりすぎない仕上げとすること。</li> <li>・来訪者からわかりやすく、かつ、水島支所との動線が円滑となり、セキュリティの確保が容易な場所に配置すること。</li> <li>・ソファやテーブル等を設置が可能な待合スペースを確保すること。</li> <li>・パンフレットの配付棚の設置スペースを確保すること。</li> <li>・地域資料などの展示が可能なスペースを確保し、必要に応じてピクチャーレールや照明設備等を設置すること。</li> <li>・正面玄関は自動扉とし、風除室を設置すること。</li> <li>・ベビーカー、貸出用車いす置場のスペースを確保すること。</li> <li>・外部から返却しやすい位置に図書返却ポスト（返却図書の保管可能なスペースを含む。）を設置すること。（図書館の閉館時に利用することを想定している。）ただし、機能上支障がない場合は、他のスペースに設置することを可とする。</li> <li>・床の仕様は耐水性、耐汚染性に留意した仕上げとすること。</li> <li>・出入口付近には図書の盗難等防止装置を設置すること。</li> <li>・出入口周辺に案内板を設置すること。</li> <li>・出入口には浸水対策を考慮した、雨水排水スリット、止水板等を適宜設置すること。</li> <li>・施設外側（盗難等防止装置外）に、雨水等を施設内に持ち込まないためのマットを敷くスペース及び傘袋装着機を設置するスペースを確保すること。</li> <li>・受付に近い、分かり易い位置に、A E D（自動体外式除細動器）用ボックスを設置すること。</li> </ul>						
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・No. 101交流スペースに隣接すること。</li> <li>・No. 601総合案内の受付カウンターの視認性に配慮すること。</li> </ul>						

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	・ No. 702 飲食コーナーへのアクセスを考慮した配置とすること。
建築設備要件	・ 図書の盗難等防止装置を必要箇所に設置すること。(HF 帯 I C タグ対応)

<b>No. 702</b>	<b>飲食コーナー</b>						
用途・目的	市民などがイベント時に食品等を提供するスペース						
必要面積	20 m <sup>2</sup> 程度	天井高	適宜	収容 人員	適宜	設置数	1 か所
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開放的なスペースとすること。</li> <li>・ カウンター、流し台、温水を利用可能な水洗器具を設置すること。</li> <li>・ 冷蔵庫、電子レンジが設置可能なスペースを確保すること。</li> </ul>						
他室との関係	・ No. 101 交流スペースに隣接又は近接すること。						
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 温水を利用可能にすること。</li> <li>・ 水栓器具はシングルレバー式等、操作性に配慮した方式のものを採用すること。</li> </ul>						

<b>No. 703</b>	<b>屋内階段</b>						
用途・目的	主に来館者が使用する屋内階段						
必要面積	提案による	天井高	—	収容 人員	—	設置数	1 か所 以上
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 階段の設置数は提案による。</li> <li>・ 屋上までアクセス可能にすること。</li> <li>・ 階段手すりは、二段手すりとすること。</li> <li>・ 2 階以上の階の避難口からの避難しやすさに配慮すること。</li> <li>・ 大型の絵画等を設置可能なピクチャーレールを設置すること。</li> </ul>						
他室との関係	—						
建築設備要件	—						

<b>No. 704</b>	<b>E V、E Vホール</b>						
用途・目的	主に来館者が利用する E V						
必要面積	提案による	天井高	—	収容 人員	—	設置数	適宜
諸室仕様	・ 施設の用途や規模を考慮した台数を設置すること。						

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ E Vは車いす利用者やベビーカー等にも配慮した仕様とする（福祉対応）こと。</li> <li>・ E Vには防犯カメラを設置すること。</li> <li>・ E Vホールは人の滞留を考慮したスペースを確保すること。</li> <li>・ E Vホール、共用廊下の床は極力段差のない仕上げとすること。</li> </ul>
他室との関係	—
建築設備要件	—

No. 705	<b>一般トイレ</b>						
用途・目的	主に来館者が使用するトイレ						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容人員	—	設置数	適宜
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男女別のトイレを各階に設置すること。</li> <li>・ 収納式おむつ交換台を設置すること。</li> <li>・ 各階の男女別トイレの大便秘器ブース内には、1 か所以上ベビーチェアを設置すること。</li> <li>・ 臭いが滞留しないなど、利用者の快適性の向上に配慮すること。</li> <li>・ 附帯設備の有無がわかるサイン計画とすること。</li> <li>・ No. 201ホールのフロアに設置するトイレは、客席数に応じた便秘器数を適宜設置すること。ただし、スペースの都合により、1 か所で必要数の確保が難しい場合は、他のフロアも含めて必要数を確保することも可とする。その場合、動線が極力短くなるよう配慮するとともに、他機能の閉館時にも利用可能なセキュリティラインの計画とすること。</li> <li>・ 防犯や非常時に対応可能な設備等を整備すること。</li> <li>・ 衛生機器はすべて自動水栓とし、小便器は低リップタイプとすること。</li> <li>・ 大便秘器は洋式とし、暖房機能付き温水洗浄便座、擬音装置を設置（幼児用除く。）すること。</li> <li>・ 便房の装備等に応じコンセントを適切に設置すること。</li> <li>・ 手洗い場は、化粧品などの小物が置けるように配慮すること。</li> <li>・ 子どもの使用を想定した高さの低い手洗いを男性用便所、女性用便所に各 1 台設置すること。</li> </ul>						

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗いや大便器、小便器部分は、手荷物や傘がおけるように配慮すること。</li> <li>・小便器間に間仕切りを設置するなど、プライバシーに配慮すること。</li> <li>・掃除しやすい工夫を行う等、維持管理面に配慮すること。</li> </ul>
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・No. 706多機能トイレに隣接する。</li> <li>・No. 414児童館用エントランスからの動線に配慮すること。</li> </ul>
建築設備要件	—

No. 706	<b>多機能トイレ</b>						
用途・目的	主に来館者が使用するトイレ						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容人員	—	設置数	適宜
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各階に設置すること。ただし、関係法令の基準を遵守した上で、必要な階に設置することを可とする。</li> <li>・大人も利用可能な収納式おむつ交換台、オストメイト、その他必要な機器を設置すること。</li> <li>・臭いが滞留しないなど、利用者の快適性の向上に配慮すること。</li> <li>・附帯設備の有無がわかるサイン計画とすること。</li> <li>・児童館利用者も利用しやすい配置とすること。</li> <li>・利用中であることが認識しやすい工夫を行うこと。</li> </ul>						
他室との関係	・No. 705一般トイレに隣接する						
建築設備要件	—						

No. 707	<b>子ども用トイレ</b>						
用途・目的	主に未就学児用のトイレ						
必要面積	提案による	天井高 (m)	適宜	収容人員	—	設置数	1 室
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの排泄を親等が介助可能な設え、仕様とすること。また、親と子の性別が異なる場合にも利用しやすい工夫を行うこと。</li> <li>・幼児用トイレを設置すること。トイレには幼児用洋式大便器（3－5歳児童用、暖房便座）、幼児用手洗い、幼児用小便器、ベビーチェア及び収納式おむつ交換台を設置すること。</li> </ul>						

(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗いや大便器部分は、手荷物などが置けるように配慮すること。</li> <li>・利用中であることが認識しやすい工夫を行うこと。</li> </ul>
他室との関係	・ No. 503子ども図書スペースに隣接することが望ましい。
建築設備要件	—

<b>No. 708</b>	<b>廊下（共用部）</b>						
用途・目的	共用の廊下						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容人員	—	設置数	適宜
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車椅子利用者同士で、すれ違うことが可能な有効幅員を確保すること。</li> <li>・多人数の使用に配慮し、機能的で使いやすい仕様とし、幅員についても余裕のあるものとする。</li> <li>・安全で分かりやすい避難動線に配慮すること。</li> <li>・必要な場所に手すりを設置すること。児童の利用が見込まれる場所は2段手すりとする。</li> <li>・円滑に清掃が行えるようコンセントを適切に設置すること。</li> </ul>						
他室との関係	—						
建築設備要件	—						

<b>No. 709</b>	<b>災害支援型自動販売機置場</b>						
用途・目的	災害時にも利用可能な飲料の自動販売機を設置するスペース						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容人員	—	設置数	適宜
諸室仕様	・設置台数は2台程度とし、災害の種別を考慮して配置すること。						
他室との関係	・提案による。						
建築設備要件	・停電時にも電源供給が可能な回路構成とすること。						

<b>No. 710</b>	<b>赤ちゃんの駅（授乳室）</b>						
用途・目的	乳児への授乳が可能な室						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容人員	適宜	設置数	適宜
諸室仕様	・粉ミルクを溶かし温めることを可能とするよう、給排水、給湯設備						



(別紙 1) 水島市民交流センター施設整備計画要領

	<p>を設置すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベビーベッドを設置すること。</li> <li>・ベビーカーや手荷物を一時的に置くスペースを設置すること。</li> <li>・湯沸しポットが使えるようにすること。</li> <li>・性別によらず、誰でも抵抗なく使用可能となるよう、配置等、機能の工夫をすること。</li> </ul>
他室との関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・No. 503子ども図書スペースから利用しやすいよう配慮すること。</li> <li>・図書館、児童館の閉館時も使用可能な動線を確保すること。</li> </ul>
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温水を利用可能にすること。</li> <li>・水栓器具はシングルレバー式等、操作性に配慮した方式のものを採用すること。</li> </ul>

No. 711	<b>湯沸室</b>						
用途・目的	利用者用の湯沸室						
必要面積	提案による	天井高	適宜	収容人員	—	設置数	適宜
諸室仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用者が給湯、排水等可能な設備を設置すること。</li> <li>・各諸室利用者が利用しやすい配置とすること。</li> </ul>						
他室との関係	・提案による。						
建築設備要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温水を利用可能にすること。</li> <li>・水栓器具はシングルレバー式等、操作性に配慮した方式のものを採用すること。</li> </ul>						

■ 共用部分の整備水準	
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・床仕上げは、音が響きにくく掃除がしやすい床材とすること。</li> <li>・壁は掃除がしやすく、明るい色彩で、テープ等のはがしやすい壁材を採用すること。</li> <li>・一部の天井付近には、多少重量のある絵画作品等も展示が可能となるような、ピクチャーレール等の器具を適宜設置すること。</li> </ul>